

建築工事仕様書

〔I〕 工事概要

1. 工事場所 米子市東福原1丁目1-45

2. 地域地区 都市計画地域(●内●外)

用途地域等(近隣商業地域)

3. 敷地面積 5,479.42 m²

4. 建物概要

名称	構造	工事種別	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)
1 会議棟	軽量S	新築	1	214.45	211.99
2 電気保安技術者技能士研修施設(修)		改修	2		

〔II〕 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面、特記仕様及び現場説明書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁営繕部監修、建築工事共通仕様書(平成5年版)による。

2. 特記仕様

- 章及び項目は番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項は●印のついたものを適用する。
●印のつかない場合は、●印のついたものを適用する。
●印と○印のついた場合は共に適用する。
- 特記事項に記載の()内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- 材料および製造所等の記載順序は不同である。

章	項目	特記事項
①	① 適用基準等	● 建築工事標準仕様書 建設大臣官庁官庁営繕部監修 ● 鉄筋コンクリート構造配筋要領 建設大臣官庁官庁営繕部監修 ● 建設制産物適正処理推進要綱 建設経済局建設業課、事業調整官監修 ● 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)建設経済局建設業課、住宅局建築指導課監修
②	② 電気保安技術者技能士	● 適用しない ● 適用する (1.2.3) ● 適用しない ● 適用する (1.5.2)
③	③ 技能士	● 適用しない ● 適用する (1.5.2)
④	④ 工事別適用種別	鉄筋 ● 鉄筋施工 コンクリート ● 左官 ● 型枠施工 ● コンクリート圧送 鉄骨 ● とび ブロック・ALC ● ブロック建築 ● ALCパネル施工 PCカーテンウォール ● カーテンウォール施工 防水 ● 防水施工 石 ● 石材施工 タイル ● タイル張り

④ 官公署その他への手続

⑤ 建築材料等

⑥ 特別な材料の工法

⑦ 発生物の処理

⑧ 工事写真

⑨ 完成図

⑩ 保守に関する資料等

⑪ 設備工事との取合い

12 統括安全衛生管理義務者の指名

13 大災保険等

14 部分引き渡し

15 工事安全計画書等

① 監督員事務所

② 工事用水

③ 工事用電力

④ 仮設工事

工事別	適用種別
木	● 建築大工
屋根及び土	● 建築板金 ● スレート施工
金	● 内装仕上げ施工
左	● 左官
建	● サッシ施工 ● ガラス施工
塗	● 塗装
内	● 内装仕上げ施工 ● 表装
植	● 造園

工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。(1.1.8)

建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。

ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。

建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の指定工法による。

● 引渡しを要するもの
● 指定産物の搬出
● アスファルトコンクリート塊 ● セメントコンクリート塊 ● 建設発生木
● 上記以外の発生材 1. 1. 10による。

「工事写真の撮り方(建設大臣官庁官庁営繕部監修)」を参考にして作成し、下記のもの監督員に提出する。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	原稿の大きさ
● 工事記録写真	● カラーサービス料	各工種の工程毎(着工前含む)	1部	24×36
● 完成写真(原稿共)	● サービス料	● 内部 箇所 箇所	3部	24×36
	● キャビネット	● 外部 箇所 箇所	部	24×36
	● パネル	● 四つ切 箇所 箇所	部	100×125
		● 外部 ● 半切 箇所 箇所		
		● 全紙 箇所		

工事記録写真(市販のJIS、B5判、工用アルバムに貼付)
完成写真(市販の ● フリーアルバム ● JIS、B版、工用アルバムに貼付)

下記のもの監督員に提出する。

● 原図 A1版又はA2版(設計図の第2原図訂正可) 1部
● 製本 縮小版A3陽面図、判折り(A4版製本) 部
● 複写 縮小版B4バラ焼 部

完成図の種類及び内容
● 案内図・配置図・面積表: 配置図には外構整備、屋外給排水系統図を含む。(BMの表示)

● 平面図: 室名、耐震壁(防火壁)、避難施設等を表示する。
● 立面図: 外壁仕上等を表示する。
● 断面図: 階高、天井高等を表示する。
● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

● 仕上表: 屋外、屋内(各室)の仕上等を表示する。

③ 土工事

④ 地業工事

⑤ 鉄筋工事

① 埋めもどし及び盛りの土の種別
② 残土処分

1 試験杭
杭の本数 ● 最初の1本 ● 図示による (4.5.1)(4.5.2)
杭の種類、寸法 ● 本杭と同じ ●
プレボーリングの掘削深さ m
設計支持力 t/本 (4.5.3)
支持力の算定方法 ● 昭和46年建設省告示第111号による。

2 既製コンクリート杭及び鋼杭地業

杭の種類	連心力鉄筋	高強度
● コンクリート杭	● プレストレストコンクリート杭	
	● JIS規格品	● JIS規格品
	● 評価品	
規格・材質など	● 1種	● A種
	● 2種	● B種
		● C種

長さ(m)
断面寸法(mm)
長期設計耐力(t/本)
継手及び継手形状 ● なし ● あり(箇所)
先端部形状及び形状 ● 開放形 ● 平そく平たん形

工法 (4.2.2)(4.3.2)
● 打込み工法
施工法 ● プレボーリング併用工法
● 直打工法
ハンマー ● ディーゼルハンマー

杭打込み機の機種 ● 3点支持クローラークレーン
● GL- m
(オーガー径 mm)

● セメントミルク工法
プレボーリング掘削深さ GL- m
● 認定埋込み杭工法 認定された条件に基づいて施工する。

杭の打止め処理 ● 打撃による打止め ●
掘削工法 ● アースドリル工法 ● リバース工法 (4.4.4)
● オールケーシング工法

掘削深さ(m)
断面寸法(mm)
コンクリートの種別 ● A種 ● B種 (4.4.1表)
鉄筋の最小かぶり厚さ ● 100mm ● 125mm (4.4.3)
鉄筋の種類 ● 異形鉄筋(● A種 ● B種) (4.8.2)
厚さ ● 60 ● 100 (4.9.1)
厚さ ● 60 ● 30 (4.9.1)

● ポリエチレンフィルムで厚さ0.15mm、重ね合わせ及び基礎埋戻ののみ込み250mm以上 (4.10.1)

(範囲は図示による)

● ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品 B種3種 (特定フロンを使用しないもの) (4.10.1)

厚さ ● 20 ● 25 ● 30 ● 40 ● 50 ● 60 ● 70 ● 80 ● 90 ● 100 ● 110 ● 120 ● 130 ● 140 ● 150 ● 160 ● 170 ● 180 ● 190 ● 200 ● 210 ● 220 ● 230 ● 240 ● 250 ● 260 ● 270 ● 280 ● 290 ● 300 ● 310 ● 320 ● 330 ● 340 ● 350 ● 360 ● 370 ● 380 ● 390 ● 400 ● 410 ● 420 ● 430 ● 440 ● 450 ● 460 ● 470 ● 480 ● 490 ● 500 ● 510 ● 520 ● 530 ● 540 ● 550 ● 560 ● 570 ● 580 ● 590 ● 600 ● 610 ● 620 ● 630 ● 640 ● 650 ● 660 ● 670 ● 680 ● 690 ● 700 ● 710 ● 720 ● 730 ● 740 ● 750 ● 760 ● 770 ● 780 ● 790 ● 800 ● 810 ● 820 ● 830 ● 840 ● 850 ● 860 ● 870 ● 880 ● 890 ● 900 ● 910 ● 920 ● 930 ● 940 ● 950 ● 960 ● 970 ● 980 ● 990 ● 1000

● 打撃による打止め ●

● アースドリル工法 ● リバース工法 (4.4.4)

● オールケーシング工法

● 異形鉄筋(● A種 ● B種) (4.8.2)

● 60 ● 100 (4.9.1)

● 60 ● 30 (4.9.1)

● ポリエチレンフィルムで厚さ0.15mm、重ね合わせ及び基礎埋戻ののみ込み250mm以上 (4.10.1)

(範囲は図示による)

● ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品 B種3種 (特定フロンを使用しないもの) (4.10.1)

厚さ ● 20 ● 25 ● 30 ● 40 ● 50 ● 60 ● 70 ● 80 ● 90 ● 100 ● 110 ● 120 ● 130 ● 140 ● 150 ● 160 ● 170 ● 180 ● 190 ● 200 ● 210 ● 220 ● 230 ● 240 ● 250 ● 260 ● 270 ● 280 ● 290 ● 300 ● 310 ● 320 ● 330 ● 340 ● 350 ● 360 ● 370 ● 380 ● 390 ● 400 ● 410 ● 420 ● 430 ● 440 ● 450 ● 460 ● 470 ● 480 ● 490 ● 500 ● 510 ● 520 ● 530 ● 540 ● 550 ● 560 ● 570 ● 580 ● 590 ● 600 ● 610 ● 620 ● 630 ● 640 ● 650 ● 660 ● 670 ● 680 ● 690 ● 700 ● 710 ● 720 ● 730 ● 740 ● 750 ● 760 ● 770 ● 780 ● 790 ● 800 ● 810 ● 820 ● 830 ● 840 ● 850 ● 860 ● 870 ● 880 ● 890 ● 900 ● 910 ● 920 ● 930 ● 940 ● 950 ● 960 ● 970 ● 980 ● 990 ● 1000

● 60 ● 100 (4.9.1)

● 60 ● 30 (4.9.1)

● ポリエチレンフィルムで厚さ0.15mm、重ね合わせ及び基礎埋戻ののみ込み250mm以上 (4.10.1)

(範囲は図示による)

● ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品 B種3種 (特定フロンを使用しないもの) (4.10.1)

厚さ ● 20 ● 25 ● 30 ● 40 ● 50 ● 60 ● 70 ● 80 ● 90 ● 100 ● 110 ● 120 ● 130 ● 140 ● 150 ● 160 ● 170 ● 180 ● 190 ● 200 ● 210 ● 220 ● 230 ● 240 ● 250 ● 260 ● 270 ● 280 ● 290 ● 300 ● 310 ● 320 ● 330 ● 340 ● 350 ● 360 ● 370 ● 380 ● 390 ● 400 ● 410 ● 420 ● 430 ● 440 ● 450 ● 460 ● 470 ● 480 ● 490 ● 500 ● 510 ● 520 ● 530 ● 540 ● 550 ● 560 ● 570 ● 580 ● 590 ● 600 ● 610 ● 620 ● 630 ● 640 ● 650 ● 660 ● 670 ● 680 ● 690 ● 700 ● 710 ● 720 ● 730 ● 740 ● 750 ● 760 ● 770 ● 780 ● 790 ● 800 ● 810 ● 820 ● 830 ● 840 ● 850 ● 860 ● 870 ● 880 ● 890 ● 900 ● 910 ● 920 ● 930 ● 940 ● 950 ● 960 ● 970 ● 980 ● 990 ● 1000

● 60 ● 100 (4.9.1)

● 60 ● 30 (4.9.1)

● ポリエチレンフィルムで厚さ0.15mm、重ね合わせ及び基礎埋戻ののみ込み250mm以上 (4.10.1)

5 耐久上下利な箇所などの鉄筋のかぶり厚さ
6 はり貫通孔補強
7 圧接完了後の検査

⑥ コンクリート工事

① 設計基準強度
※ 普通コンクリート 温度補正を行うこと (6.1.2)

設計基準強度F_{cd}(kg/cm²) 適用箇所
※ 210 基礎土間
● 180 捨土コンクリート

● 軽量コンクリート (6.1.2)(表6.7.1)

設計基準強度F_{cd}(kg/cm²) 種別 気乾単位容積重量(t/m³) 適用箇所
※ 210 ● 1種 ● 2種
● 180 ● 1種 ● 2種

② レディーミクストコンクリートの種別

③ セメントの種別
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.2.1)(6.10.2)
● 高炉セメントのB種
普通ポルトランドセメントの品質はJIS R5210 のかに下記の規定に適合するものとする。

品質 規定
水和熱(cal/g) 7d 84 以下
28d 96 以下
全アルカリ(Na₂Oeq)% 0.75 以下
塩素% 0.02 以下

注) 全アルカリ(Na₂Oeq)の算出はJIS R5210 ポルトランドセメント付属書ポルトランドセメント(低アルカリ形)による

④ 混和材料
※ 混和剤 AE剤またはAE減水標準型のI種 (6.2.4)
● 混和材 フライアッシュ

⑤ 細骨材の塩分含有量
※ 0.04%wt以下 (6.2.2)

⑥ 無筋コンクリート
粗骨材の最大寸法(捨コンクリート及び防水押さえコンクリートの場合)
※ 25mm (6.9.2)

適用箇所 ※ 6.9.4による ● 6.9.4の他は下表による (6.9.3)(6.9.4)

種別 スランプ(cm) 適用箇所
普通コンクリート ● 15 ● 18 捨土コンクリート
軽量コンクリート ● 15 ● 18

7 マスコンクリート
セメントの種類 ※ 高炉セメントのB種 (6.11.1)(6.11.2)

8 水密コンクリート
水セメント比(%)スランプ(cm) 適用箇所
● 50 ● 15 ●

● 混和材
● 止水板付型枠補付材(適用箇所)
● 所要空気量 ※ 4.5%/v_t ●

9 打撃部止水版
止水ゴムの製造所
適用箇所

10 床コンクリートに仕上げ (6.13.1)(表6.13.1)

種別 適用箇所
● A種 屋根防水層押さえコンクリート
● B種 屋根防水層の地下

⑪ 型枠のせき板の種類
※ 合板(塗装 ● 有り ※ 無し) (6.14.1)
(材質 ※ 南洋材 ● 針葉材 ● 複合)
● 床型枠用鋼製デッキプレート 製造所
● メッシュ(製造所の仕様による 増打厚 ● 10 ●)

⑥ コンクリート工事 12 打放し仕上げの種類別 ※ 合板せき版を使用する場合 (表6.14.1) 種別 適用箇所 ● A種 ※ 図示による ● B種 ※ 図示による ● C種 ※ 図示による ● 合板せき版を使用しない場合 種別 ※ A ● (6.2.2) 塩化物量 (Cl⁻重量)(kg/m²) (6.4.4) ※ 0.30以下 (6.11.3表) 測定器 (財)国土開発技術センターの技術評価を受けたものとする。 試料の採取 下記により試験値は同一試料における3回の測定値の平均値とする。なお最初の試験は打ち込み当初行いものとする。 ※ 150mm²ごと又はその増数につき1回以上とする。 ● ⑦ 鉄骨工事 ① 施工管理技術者 ● 適用する ● 適用しない (7.1.4) ② 鋼材の種類別 (7.2.1)(7.9.2) 材料 規格 使用箇所 ● SS400 ※ JIS規格品 ● JIS規格品以外 ● SSC400 ※ JIS規格品 ● JIS規格品以外 ● STK400 ※ JIS規格品 ● JIS規格品以外 ● ※ JIS規格品 ● JIS規格品以外 JIS規格品以外の場合 ※ 試験を行う ● 試験を行わない ● JISの高力ボルト (セットの種類 ※ 2種(F10T) ●) ※ トルシア型高力ボルト (セットの種類 ※ 2種(F10T) ●) ● 溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 1種A(F8T相当)) (7.10.2) ③ 高力ボルト 鋼の種類 ※ 鋼種式 ● パイプ式 ● 鋼材の種類 ※ 羽子板ボルト ● 両ねじボルト ● アイボルト (7.5.8) 5 溶接完了後の検査 試験の種類 試験箇所 試験数 備考 ● 超音波探傷試験 ● 浸透探傷試験 ● 6 塗装 錆止め塗料 (7.6.1) 鉄面 ※ 17.3.1表のA種(JIS番号) ● 亜鉛めっき面 ※ 17.3.2表による ● (7.7.1~4)(表7.7.2) 7 耐火被覆 種別 適用箇所 性能 備考 ⑧ アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 種別 (7.8.1)(表7.8.1) ● A種 ※ B種 ● C種 ⑨ 柱底均しモルタル 工法 (7.8.1)(表7.8.2) ● A種(製造所は下記による) ※ B種 無収縮モルタル製造所 既成コンクリート(ノンシュリンクグラウト) 既成小野田(プレユロックス) 電気化学工業KK(デンカプレタスコンTYPE-1) ポリス物産KK(マスターフロー-870グラウト) ⑩ 軽量形鋼構造 鉄筋の種類 ※ A種 ● B種 ⑪ 鉄骨の製作所 ※ 監督員の承諾する製作所 ● 製作所 12 亜鉛めっき 種別 A種 種別 ※ A種 ● (7.10.3)(14.2.3表) 8 ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事 1 空調コンクリートブロックの種類等 (8.1.2)(8.2.2) ※ C種普通ブロック ● 厚さ ※ 図示 異形鉄筋 (8.1.2) 2 ブロックの鉄筋の種類 類別 ※ A類 ● B類 種別 ※ SD295A ● 3 れんが 普通れんが (8.3.2) ※ 2種 ● 耐火れんが ※ 8種または9種 ● 耐火れんがが積目地材は耐火れんがの製造所の製品ならびに仕様とする。 (8.3.2) 4 キャスタブル耐火物 製造所 東興建設KK(不動印)、日本ガイシKK(BRATOP13) 5 ALCパネルの種類 ● 屋根用 ● 外壁用 (8.5.2) ● 床用 ● 間仕切壁用 6 外壁パネルの取り付け工法 (8.5.7)(表8.5.2) ● A種 ※ B種 ● C種 ● D種 出隅入隅部の目地幅 (8.5.7) パネル相互の接合部 (8.5.4) ※ 9.4.1表による。 (8.5.8)(表8.5.3) 7 間仕切壁パネルの取り付け工法 種別 ● A種 ● B種 ● C種 ● D種 9 防水工事 1 アスファルト防水 (9.1.2)(表9.1.1~表9.1.6) 施工箇所 種別 保護層の有無 備考 2 屋根保護防水層 (断熱工法)の断熱材 (特定フロンを使用しないもの) 材質 断熱用シート ● ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品B類3種 (両面スキン層付) 厚さ ● 25 ● 絶縁用シート ● ポリエチレンフィルム ● フラットヤンクロス 3 立上りのコンクリート 打放し仕上げの種類別 (9.1.4) ※ 6.14.1表のB種 ● 4 伸縮調整目地 ※ 注入目地 (9.1.5) ※ 成形伸縮目地 ● 製造所 5 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.2.2)(表9.2.1)(9.2.3) 施工箇所 種類 厚さ(mm) 備考 加硫ゴム系 非加硫ゴム系 6 塗膜防水 絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート ● (9.3.2)(表9.3.1)(表9.3.2)(9.3.3) 施工箇所 種類 厚さ(mm) 備考 7 端部押え金物 脱気装置 ※ 設けない ● 設ける 材質 数量 ※ アルミニウム L-30×15×2 ● 8 漏水試験 屋内については水圧試験を行なう。 (9.4.2)(表9.4.1)(10.2.3)(10.3.3)(11.1.1)(11.1.3)(11.2.3)(11.2.5)(15.6.2)(16.2.4)(16.11.1)(16.11.3) 9 シーリング用材料 施工箇所は下記以外9.4.1表による。 種別 施工箇所 ● A種 ● B種 ● C種 ● D種 ● E種 ● F種 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ● 引張接着性試験 ● 行わない 10 石工事 1 花こう岩類の石張り及び大理石張り (10.2.2)(10.3.2) 石の種類 ● 花こう岩 ● 大理石 ● 石の品質 ※ 1等品 ● 2等品 ● (表10.2.1)(表10.2.2)(表10.3.1) 石、仕上げの種類 施工箇所 種類・産地・名称 仕上げの種類 2 テラズブロック張り (10.4.2) 石の種類 ※ 大理石 ● ※ 監督員の承諾する製造所 ● 3 製造所 11 タイル工事 ① 陶磁器質タイル張り (11.1.1) 施工箇所 形状寸法(mm) きじの質 うわぐすり その他 湯沸室の壁 1000 陶磁器 施釉 洗面・トイレ 1500 陶磁器 施釉 2 陶磁器質タイル型枠付け工法 (11.2.1表) 適用タイル 種類 タイル型枠先付け面にせき板の種類 ● 小口タイル ● タイシート法 ※ 6.14.1(d)(2) ● 二丁タイル ● 目地ます法 ● 6.14.1(d)(2) ● 大型タイル 枝木法 6.14.1(d)(2) きじの質 うわぐすり 役 物 ※ 硬器質 ● セツ器質 ※ 使用する(● 一体成形品 ● 接着成形品) ● 使用しない 3 外壁伸縮目地の位置 製造所 ※ 監督員の承諾する製造所 (11.1.3(a))(11.2.5(a)) ※ 図示 ● 共通仕様書による 12 木工事 ① 木 材 木材の含水率 (表12.1.1) ※ A種 ● B種 造作材の等級 (表12.1.2) ※ A種 ● B種 代用樹種を適用しない箇所又は樹種 ● 図示した箇所又は樹種 ● ② 表面仕上げの程度 (表12.1.4) ● A種 ※ B種 ● 種 化粧板の樹種及び厚さ (表12.1.6) 施工箇所 樹種 厚さ(mm) 施工箇所 樹種 厚さ(mm) 柱 杉 ※ 1以上 ● 天井板 杉 ※ 0.2以上 ● かもろ、なげし、廻り 杉 ※ 0.6以上 ● 敷居 サクラ ※ 15以上 ● 等級 ※ 1等 ●

① 建具工事

60

14 オーバーヘッドドア セクション材料による種類 (表16.12.1)
● スチールタイプ ● アルミニウムタイプ
● ファイバークラスタイプ (表16.12.2)
※ バランス式 ● チェーン式 ● 電動式
収納形式による種類
● スタンダード型 ● ローヘッド型
ガイドレールの材質
● 鋼板 ● ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2mm
アルミニウム型材の表面処理
● 陽極酸化塗装被覆皮膜(● 標準色 ● 指定色)
● 陽極酸化皮膜
製作所

17 防火材料 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。 (17.1.1)
(17.2.1)(表17.2.1)
(表17.2.2~表17.2.6)
(表17.3.1)
(表17.3.2)
(表17.3.3)
(表17.3.4)
(表17.4.1)
(表17.4.2)
(表17.5.1)
(表17.6.1)(表17.6.2)
(表17.7.2)
(表17.8.1)
(表17.9.1)
(表17.10.1)
(表17.11.1)
(表17.11.2)

16 塩化ゴム系エナメル塗り 製造所 (表17.12.1)
ジョブプライマーの製造所 (表17.13.1)
(表17.14.1)
(表17.16.2)(表17.16.1)

20 塗装業者 ① ビニル床シート張り (18.1.1)(18.1.2)
② ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (18.2.1)
③ ビニル幅木 (18.2.1)
④ 合成樹脂塗り床 (18.3.2)(18.3.3)
⑤ 床用防じん塗料塗り 製造所
⑥ 可動間仕切り JIS A6521によるほか、下記による。

7 石こうボード、その他ボード及び合板張り (18.4.1)(表18.4.1~表18.4.4)

11 畳敷き 種類 (表18.7.1)
● A種 ● B種 ● C種
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (表18.8.2)
(表18.8.2)
(表18.8.3)
(表18.8.4)
(表18.9.2)
(表18.9.3)
(表18.9.4)
(表18.9.5)
(表18.9.6)
(表18.9.7)
(表18.9.8)
(表18.9.9)
(表18.9.10)
(表18.9.11)
(表18.9.12)
(表18.9.13)
(表18.9.14)
(表18.9.15)
(表18.9.16)
(表18.9.17)
(表18.9.18)
(表18.9.19)
(表18.9.20)
(表18.9.21)
(表18.9.22)
(表18.9.23)
(表18.9.24)
(表18.9.25)
(表18.9.26)
(表18.9.27)
(表18.9.28)
(表18.9.29)
(表18.9.30)
(表18.9.31)
(表18.9.32)
(表18.9.33)
(表18.9.34)
(表18.9.35)
(表18.9.36)
(表18.9.37)
(表18.9.38)
(表18.9.39)
(表18.9.40)
(表18.9.41)
(表18.9.42)
(表18.9.43)
(表18.9.44)
(表18.9.45)
(表18.9.46)
(表18.9.47)
(表18.9.48)
(表18.9.49)
(表18.9.50)
(表18.9.51)
(表18.9.52)
(表18.9.53)
(表18.9.54)
(表18.9.55)
(表18.9.56)
(表18.9.57)
(表18.9.58)
(表18.9.59)
(表18.9.60)
(表18.9.61)
(表18.9.62)
(表18.9.63)
(表18.9.64)
(表18.9.65)
(表18.9.66)
(表18.9.67)
(表18.9.68)
(表18.9.69)
(表18.9.70)
(表18.9.71)
(表18.9.72)
(表18.9.73)
(表18.9.74)
(表18.9.75)
(表18.9.76)
(表18.9.77)
(表18.9.78)
(表18.9.79)
(表18.9.80)
(表18.9.81)
(表18.9.82)
(表18.9.83)
(表18.9.84)
(表18.9.85)
(表18.9.86)
(表18.9.87)
(表18.9.88)
(表18.9.89)
(表18.9.90)
(表18.9.91)
(表18.9.92)
(表18.9.93)
(表18.9.94)
(表18.9.95)
(表18.9.96)
(表18.9.97)
(表18.9.98)
(表18.9.99)
(表18.9.100)

20 排水工事

21 植栽工事

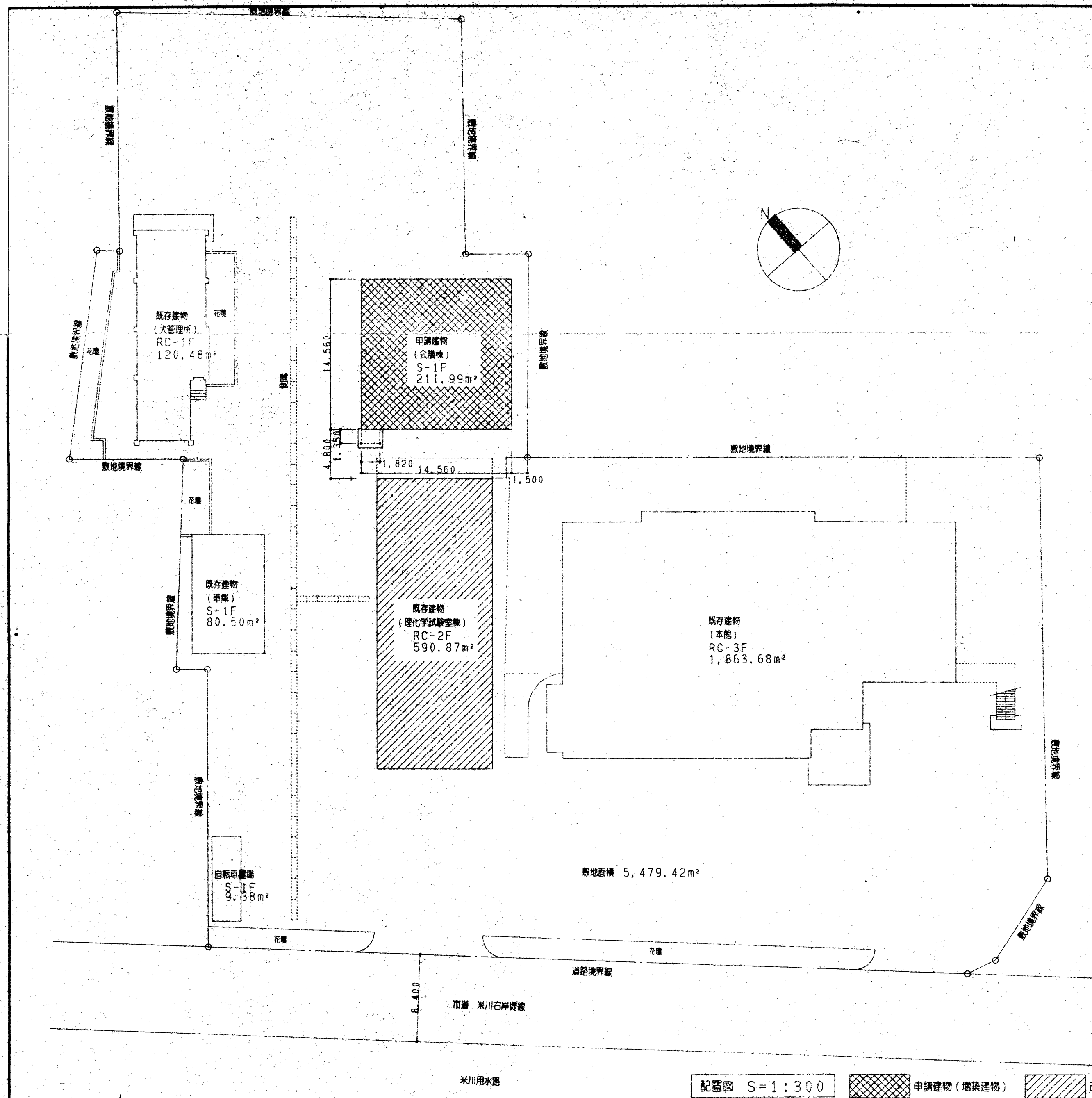
22 雑工事

1	通心力鉄筋コンクリート管	管径150mm以下は市販品とする。 (20.1.1)(表20.1.1)
2	排水まなす	● 共通詳細図 ● 建築工事標準詳細図
3	グレーチング	材 質 ● 鋼製 ● ステンレス製 耐荷重等は図示による 製造所 伊藤鉄工KK、KKオオタケファンドリー、カネソウKK、第一機材KK、KKダイケン、中部工機KK、KKニムラ、KK長谷川鋳工所、KK淀川製鋼所
4	鋳鉄製マンホールふた	形 式 ● 防臭型 ● 安全荷重 HASS 209による 屋内用 500kg以上 屋外用 ● 500kg以上 ※ 1500kg以上 ● 5000kg以上 製造所 伊藤鉄工KK、KKオオタケファンドリー、カネソウKK、KK小島製作所、第一機材KK、中部工機KK、二宮産業KK、KKニムラ、KK長谷川鋳工所、福西鋳物KK、北勢工業KK
1	植込み用土	※ 現場発生の良質土 ● 客土 (21.1.1)
2	支柱丸太及び添木丸太	※ 防腐剤塗り ● 焼丸太 (21.1.2)
3	芝	種 別 (21.2.1) ※ こうらい芝 ● 野芝 (21.2.2) 芝張り (21.2.2) 平 地 ※ 目地張り ● 切り土のり面 ※ ペタ張り ● 盛り土のり面 ※ 筋芝張り ● 客 土 (21.2.1)(21.2.2) ※ 行う ● 行わない
4	土壌改良材	種 別 (21.2.1) ● 土壌改良用泥炭 ● バーク系堆肥 ●
1	階段清り止め	材 種 (22.1.2) ステンレス鋼(※ 埋込み工法 ● 接着工法) フラットエンド ● 有(※ タイヤ同材 ● ステンレス鋼) ● 無 形 式 ※ ビニールタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り ● タイヤなし 製造所
2	黒板	種 類 ● 研ぎ出し黒板(● 木製 ● 鋼製) ※ 焼き付け黒板(※ 焼き付け ● ほうろう) 枠 ※ アルミ合金製 ● 木製 色 彩 ※ 緑 ● 黒 ● 白
3	スクリーン	種 別 ● ホワイトスクリーン ● 形 式 ※ スプリング巻上(ノーションク)式 ● 寸法(mm) 幅() 高さ()
4	カーテン	(22.3.1)(22.3.2)(表22.3.1)

施工箇所	きれ地の品質(製造所)	ひだの種類	形 式	引き分け装置
			● 片引き ● 有	
			● 引き分け ● 無	
			● 片引き ● 有	
			● 引き分け ● 無	
			● 片引き ● 有	
			● 引き分け ● 無	

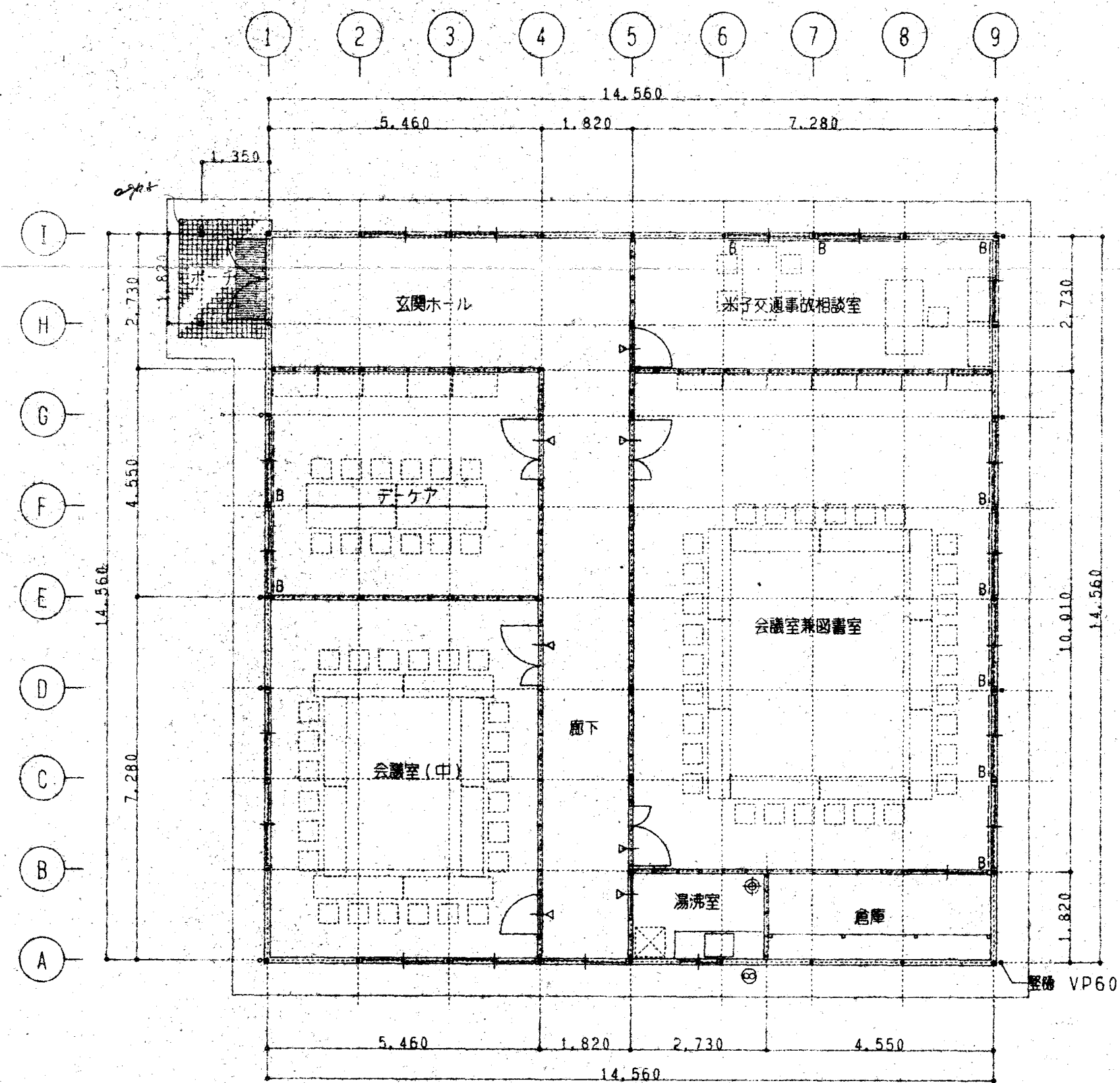
5	カーテンレール	材 種 (22.3.2) ※ ステンレス製 ● アルミニウム製 製造所
6	ブラインド	(22.4.1)
7	アコーディオンドア	製品は消防法に規定する防火加工を行ったものとする。 製造所
8	スライディングドア	製造所
9	庁名文字	共通詳細図による。 ● 切抜文字(● ステンレス製 ● 黄銅製) ● 捺文字(● ステンレス製 ● 黄銅製) ● 字数() 文字の大きさ()号
10	浴槽	● 都市ガス用 ● プロパンガス用 釜 ※ バランス式(● 一般型 ※ シャワー付型) ● 外釜式 そ う(保温ふた付) ● 鉄板ホロー仕上 ● ポリバス ※ ステンレス 寸法(mm) 長さ() 幅() 高さ()
11	くつふきマット	※ ビニール製(受わくステンレス製) ワンライン型(ムク仕上) ● 硬質アルミニウム製(受わくステンレス製) ● ステンレス製(受わく共)
12	旗ざお受金物	材 質 黄銅(ホワイトブロンズめっき仕上)又はステンレス製()組
13	鋼製書架及び物品棚	鋼製書架 ※ JIS S 1039規格品 ● 法務省型 鋼製物品棚 JIS S 1040規格品
14	ステンレス流し台	● BL部品(トラップ付) ● 一般型(水封50mm以上のトラップ付)
15	つり戸だな	● BL部品 ● 一般型 ● 公共住宅型
16	水切りだな	● 一般型(材種はステンレス鋼又はアルミニウム)
17	標識	● 室名札 ● ビクトグラフ ● 庁舎案内板 ● 視覚障害者案内板 詳細は、共通詳細図による。
18	点検口	天 井 材 種 アルミニウム製 寸法(mm) ※ 450×450 ● 600×600 製造所 昭和ロックKK(天井ハッチ)、KKダイケン(Z型)、ナカ工業KK(ハイハッチSD)、KKマンテン(テンケンハッチ)、理研アルミ建材KK(天井点検口)
19	非常用避難具	●
20	タラップ	材 質 ※ ステンレス製 ● 鋼製
21	物干金物	形 式 ● 自在形 ● 固形形 ● 横付型 材 質 ※ アルミニウム製 ● 鋼製
22	バルコニー隔板	枠 材 質 ● 鋼製 ● アルミニウム製

23	クーラー用スリーブ	水切付径(mm) ※ 取付ボルト(● 屋外ユニット用 ● 屋内ユニット用)
24	換気ガラリ及びレジスター	材 質 ● アルミニウム製 ● 合成樹脂製 寸 法
25	天井裏等換気パイプ	材 質 ● 塩化ビニール ● 径 ※ 50 ● 外 壁 ● エルボ ● 間仕切壁 ● 直管 ● 施工箇所 ●
26	床下換気孔	材 質 ● 鋳鉄製 ● 合成樹脂製 寸 法
27	郵便受	● BL部品(● ステンレス製 ● 鋼製) (● 横型 ● 縦型) ●
28	定礎	材 質 寸 法
29	グレーチング	材 質 ※ 鋼製 ● ステンレス製 安全荷重 屋外用 屋内用
30	フェンス	網 形 式 ● ひし形 ● ワイヤメッシュ 線径(mm)網目の大きさ 仕 上 ● ビニール被覆 ● 亜鉛メッキ ● 基 礎 ● 既製コンクリートブロック ●
31	焼却炉	製造所 基礎寸法()×()×() 地盤厚 60mm
32	砂利敷き	種 別 (表22.5.1) 道 路 ※ A種 ● B種 建物周囲その他 ● A種 ※ B種
33	敷地・境界石標	● A種 ※ B種 ()箇所 (22.7.1)
34	煙突用成形ライニング材	製造所 ニチアスKK(ニューカボスタック) 日本インシュレーションKK(ハイスタック)
35	天井見切線	材 種 ※ アルミニウム既製品(押出し型材) ● ビニール既製品
36	視覚障害者用誘導ブロック	材 種 ● 塩化ビニール製(厚さ2mm) ● コンクリート製(厚さ30mm) ● 詳細は、建築工事詳細図による。 ※ 一般部 ● 耐火構造部
37	エキスパンジョイント金物	



申請建物建築面積

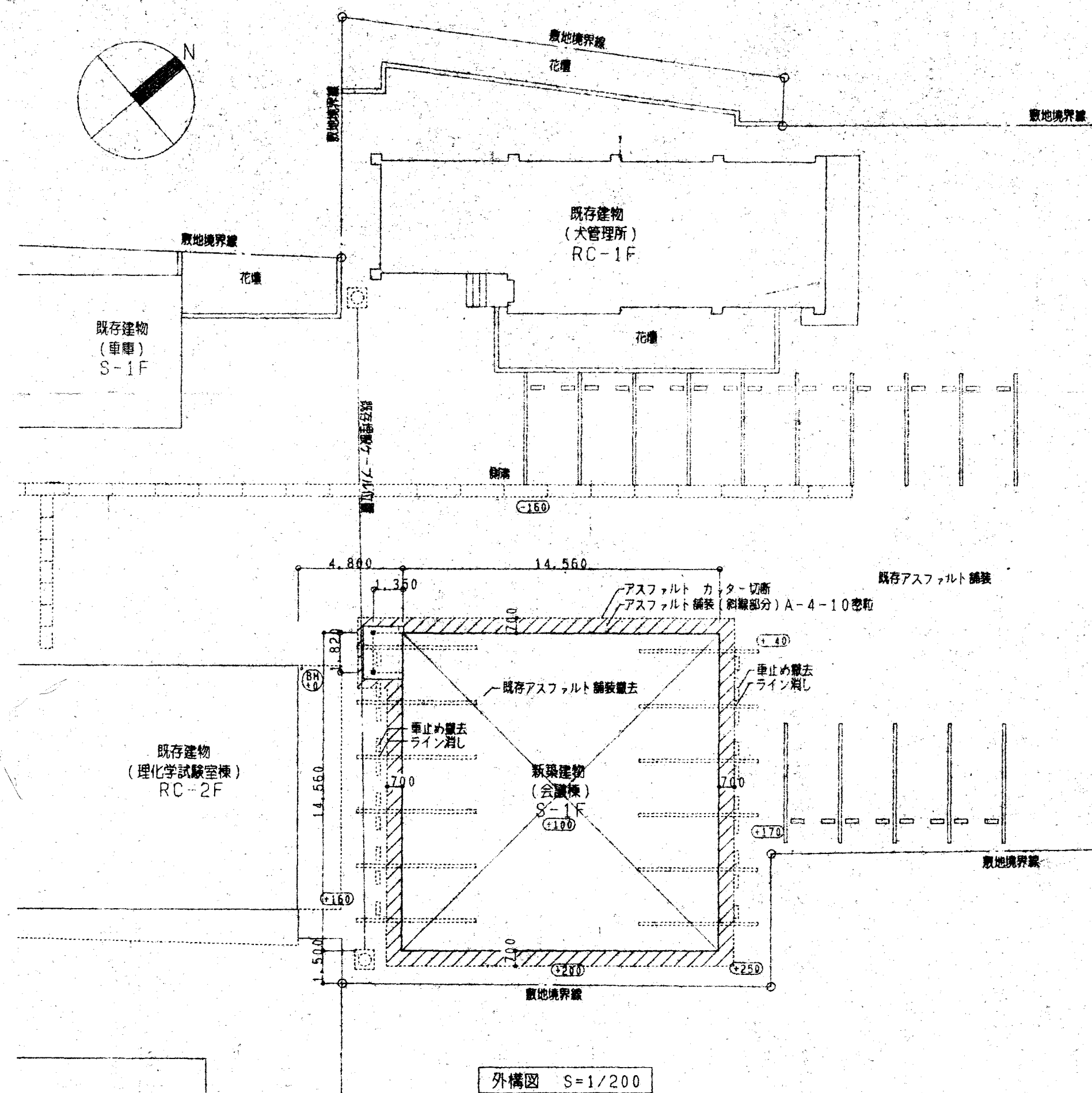
外部仕上				内部仕上																
外部仕上	屋根	軒天	壁	床	巾木	壁	天井	回縁	天井高	備考										
外部仕上	外壁	長尺カラー鉄板加工折版鋼 H=88、t=0.8	軒天	珪酸カルシウムt=5 VP塗	玄関ホール	モルタル金コテ下地t=28 長尺塩ビシートt=2	塩ビ製巾木 H=75	石膏ボードt=12.5下地 ビニールクロス	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ (藍目)	2,600 FL=6L+250									
		ポリエチレンフォームt=4裏貼り	根廻り	モルタル刷毛引t=20																
		外壁パネル	庇	長尺カラー鉄板加工折版鋼 H=88、t=0.8																
		VP現場吹付け シーリング変成シリコン		ポリエチレンフォームt=4裏貼り																
		センチリーボードt=12																		
グラスウールt=50(10Kg品)	ポーチ	ポーチ 磁器100角タイル	廊下	モルタル金コテ下地t=28 長尺塩ビシートt=2	塩ビ製巾木 H=75	石膏ボードt=12.5下地 ビニールクロス	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ (藍目)	2,600 FL=6L+250	天井点検口(450×450)×1ヶ所										
アルミ蒸着シートt=0.15																				
板金・金物	化粧破風：塩ビ鋼板t=0.5、その他：カラー鉄板t=0.5 化粧破風受金物L=40×30×2.3 亜鉛メッキ品																			
外部金物	樋	軒樋塩ビ製角樋 受金物 亜鉛メッキ品 @800 堅樋VP60 受金物 亜鉛メッキ品 @1350内外									塗装	外壁VP塗、軒天VP塗、玄関柱ポリウレタン塗、堅樋VP塗	ミーティング 事故相談室	モルタル金コテ下地t=28 長尺塩ビシートt=2	塩ビ製巾木 H=75	石膏ボードt=12.5下地 ビニールクロス	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ (藍目)	2,600 FL=6L+250	ブラインドボックス ブラインド(シルキーS同等品) 天井点検口(450×450)×1ヶ所
雑工事	雪止めアングル	L=50×50×4 亜鉛メッキ品									外構	外構図に依る								
ブラインド	平面図に図示																			
室名札	平面図に図示																			
湯沸室内備品	流し台L=1800(NC-S-180同等品)																			
倉庫内戸棚	木製 詳細図に依る																			
消防法無窓階チェック																				
必要開口部面積 211.99×1/30=7.066㎡																				
有効開口部面積 AD-1:1.569×2.006×1=3.147、AW-1:0.8275×1.269×2×16=33.603、AW-2:0.7845×1.269×2=1.991 計 38.741㎡ 38.741 > 7.066 *OK																				
L・V・S・チェック																				
	採光チェック(法35、令116の2-1)	換気チェック(法28-2)	排煙チェック(法35、令116の2-2)	湯沸室	モルタル金コテ下地t=28 長尺塩ビシートt=2	塩ビ製巾木 H=75	石膏ボードt=12.5下地 ビニールクロス 一部耐水石膏ボードt=12.5下地陶器質100角タイル	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ (藍目)	2,600 FL=6L+250	流し台 L=1800 (NC-S-180同等品) 水切りカバー									
玄関ホール 廊下			必要面積 41.405×1/50=0.828㎡ 有効面積 1.241㎡ *OK AD-1:1.569×0.209=0.327 AW-1:0.8275×0.375×2=0.620 AW-2:0.7845×0.375=0.294	倉庫	モルタル金コテ下地t=28 長尺塩ビシートt=2	塩ビ製巾木 H=75	石膏ボードt=12.5下地 ビニールクロス	化粧石膏ボードt=9.5	塩ビ (藍目)	2,600 FL=6L+250	木製壁(壁紙)									
ミーティング	必要面積 24.84×1/20=1.242㎡ 有効面積 4.2㎡ *OK AW-1:1.655×1.269×2=4.200	必要面積 24.84×1/20=1.242㎡ 有効面積 2.1㎡ *OK AW-1:0.8275×1.269×2=2.100	必要面積 24.84×1/50=0.497㎡ 有効面積 0.62㎡ *OK AW-1:0.8275×0.375×2=0.620																	
会議室(中)	必要面積 39.75×1/20=1.988㎡ 有効面積 4.2㎡ *OK AW-1:1.655×1.269×4=8.400	必要面積 39.75×1/20=1.988㎡ 有効面積 4.2㎡ *OK AW-1:0.8275×1.269×4=4.200	必要面積 39.75×1/50=0.795㎡ 有効面積 1.241㎡ *OK AW-1:0.8275×0.375×4=1.241																	
米子交通 事故相談室	必要面積 19.87×1/20=0.994㎡ 有効面積 6.3㎡ *OK AW-1:1.655×1.269×3=6.300	必要面積 19.87×1/20=0.994㎡ 有効面積 3.15㎡ *OK AW-1:0.8275×1.269×3=3.150	必要面積 19.87×1/50=0.397㎡ 有効面積 1.241㎡ *OK AW-1:0.8275×0.375×3=0.930																	
会議室 兼 図書室	必要面積 72.87×1/20=3.644㎡ 有効面積 10.5㎡ *OK AW-1:1.655×1.269×5=10.500	必要面積 72.87×1/20=3.644㎡ 有効面積 5.25㎡ *OK AW-1:0.8275×1.269×5=5.250	必要面積 72.87×1/50=1.457㎡ 有効面積 1.551㎡ *OK AW-1:0.8275×0.375×5=1.551	外部建具	アルミサッシ(ブロンズ)															
湯沸室	必要面積 4.97×1/20=0.249㎡ 有効面積 0.498㎡ *OK AW-3:0.745×0.669×1=0.498	必要面積 4.97×1/20=0.249㎡ 有効面積 0.498㎡ *OK AW-3:0.3725×0.669×1=0.249	必要面積 4.97×1/50=0.099㎡ 有効面積 0.139㎡ *OK AW-3:0.3725×0.375×1=0.139	内部建具	ポリエステル化粧合板フラッシュ戸															
				特記事項	1:ビニールクロスは防火2級品 壁紙材料第0003号とする 2:石膏ボード、耐水石膏ボードt=12.5は準不燃材第2015号とする 3:化粧石膏ボードt=9.5は準不燃材第2016号同等品とする 4:外壁木造下地センチリーボードt=12貼 防火第804号 5:VPは塩化ビニール樹脂エナメル、SOPは合成樹脂調合ペイントとする															



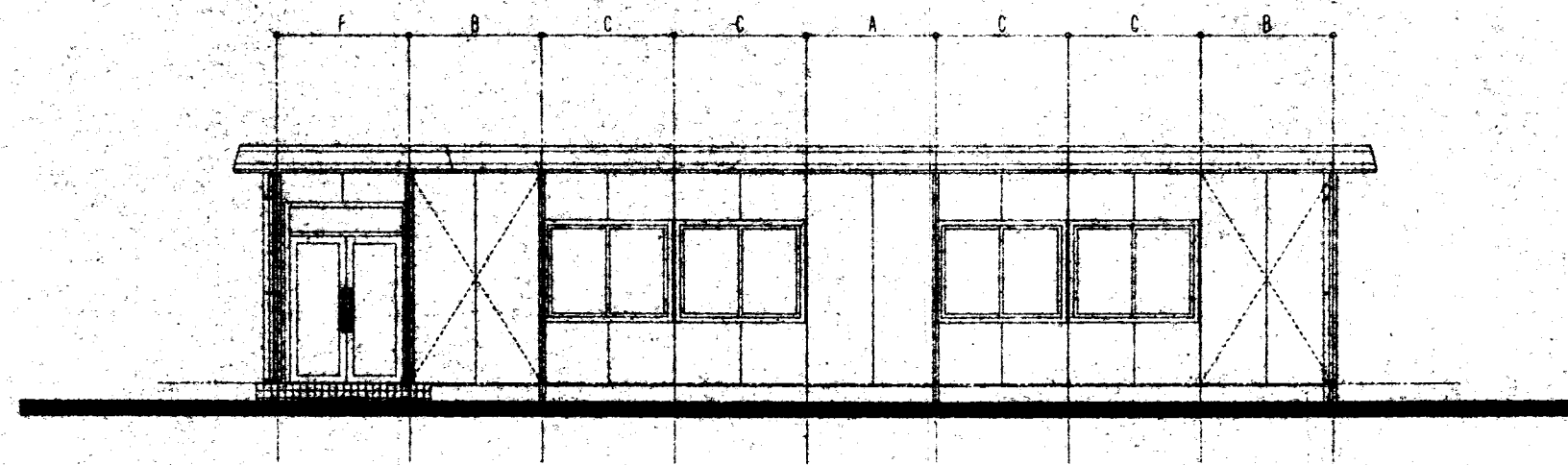
建築面積 $211.99 + 1.35 \times 1.82 = 214.44\text{m}^2$
 床面積 $14.56 \times 14.56 = 211.99\text{m}^2$

平面図 S=1/100

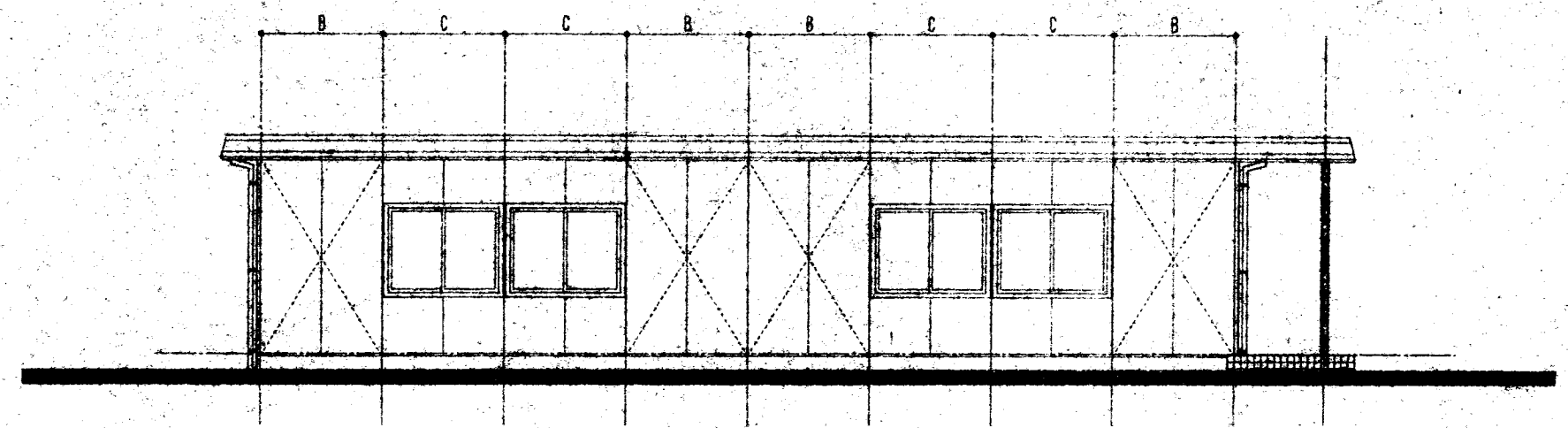
凡例	
	外壁パネル
	軽鉄間地切壁下地 巾65
	室名札 アルミ平付型 (SK-618-1型)
	換気扇 200φ (設備工事)
	ヨコ型ブラインド (シルキーS同等品)
	浄水器 ABC10型 (西部健康福祉センター側設置)



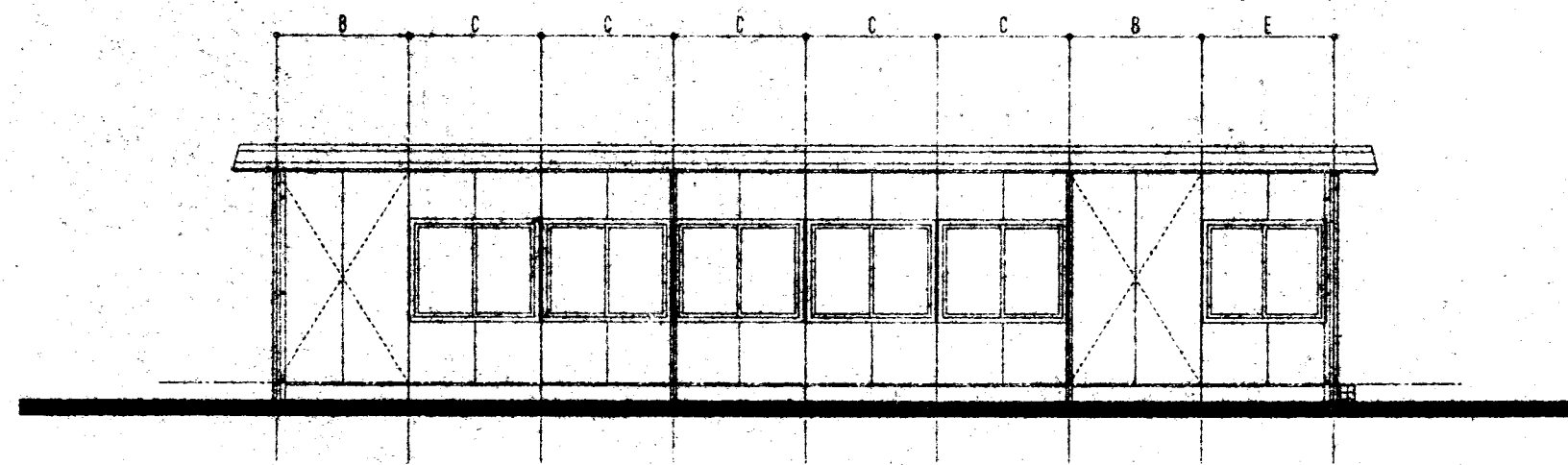
外構図 S=1/200



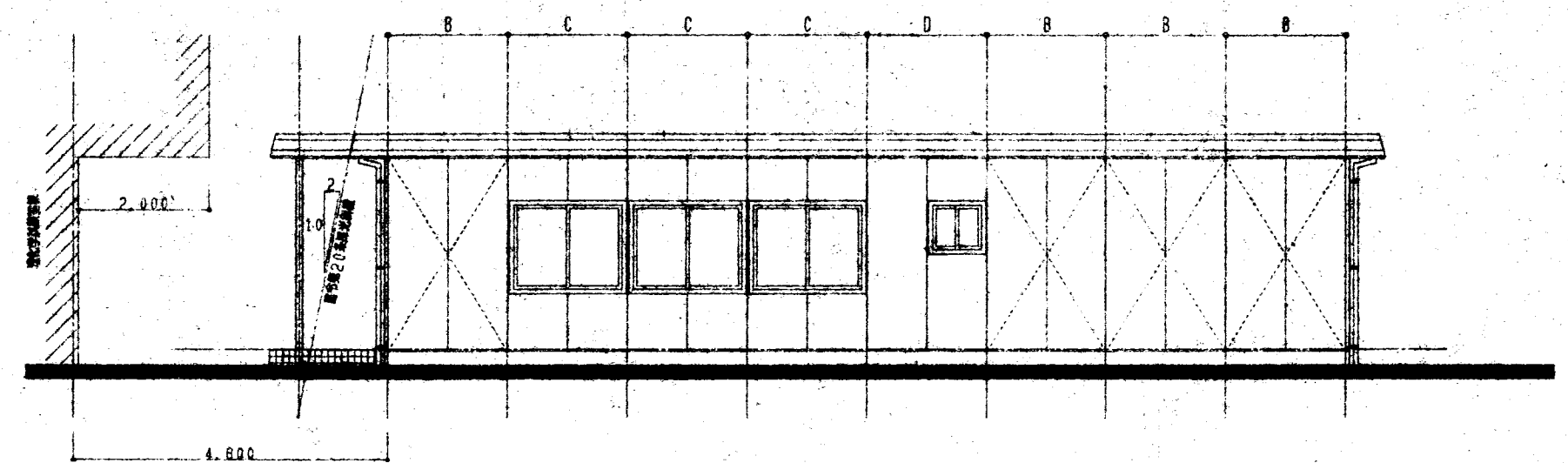
南面立面図 1/100



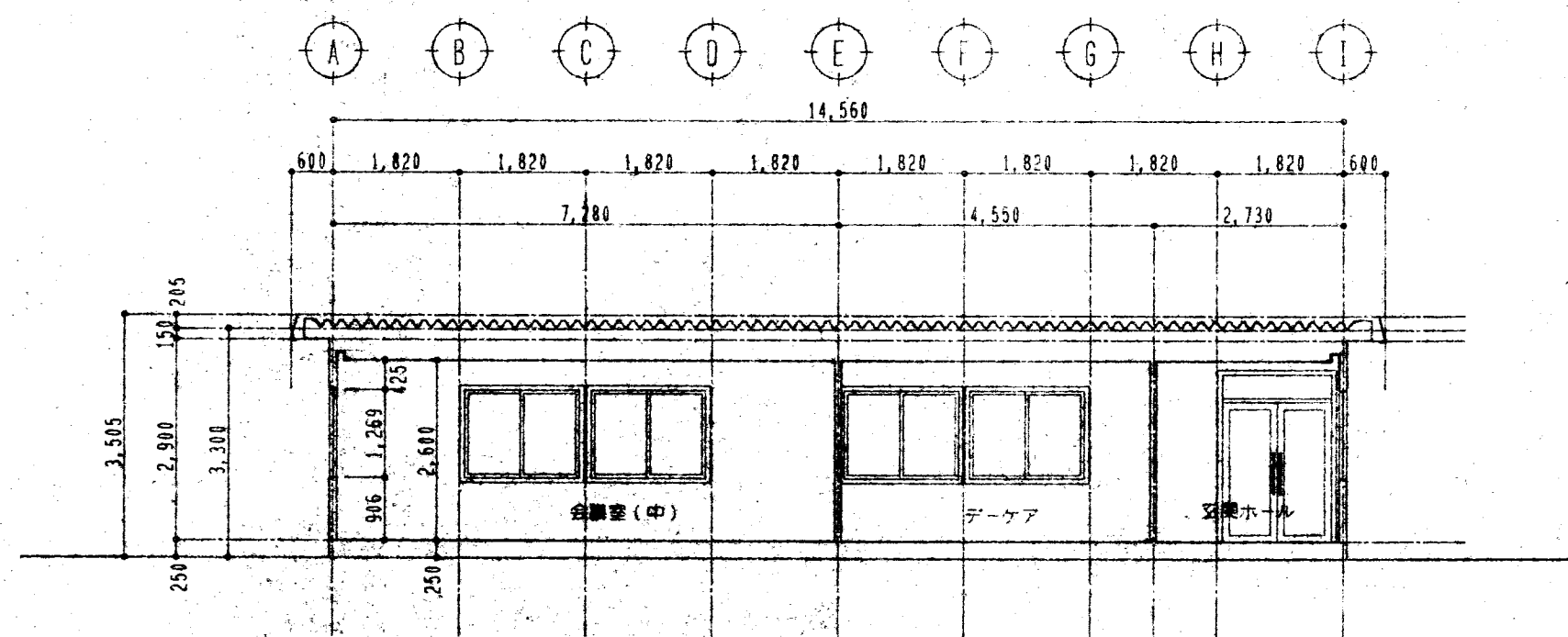
西面立面図 1/100



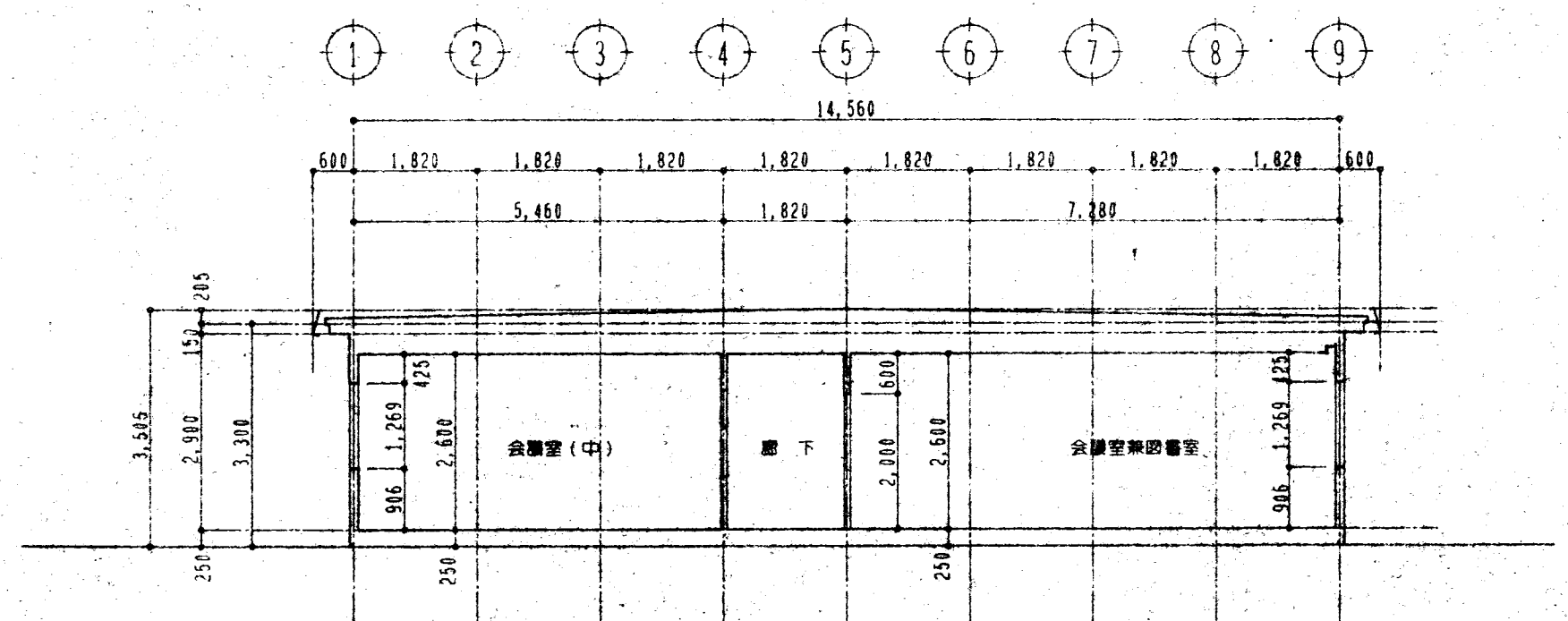
北面立面図 1/100



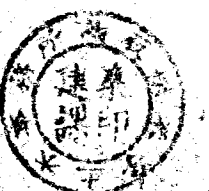
東面立面図 1/100

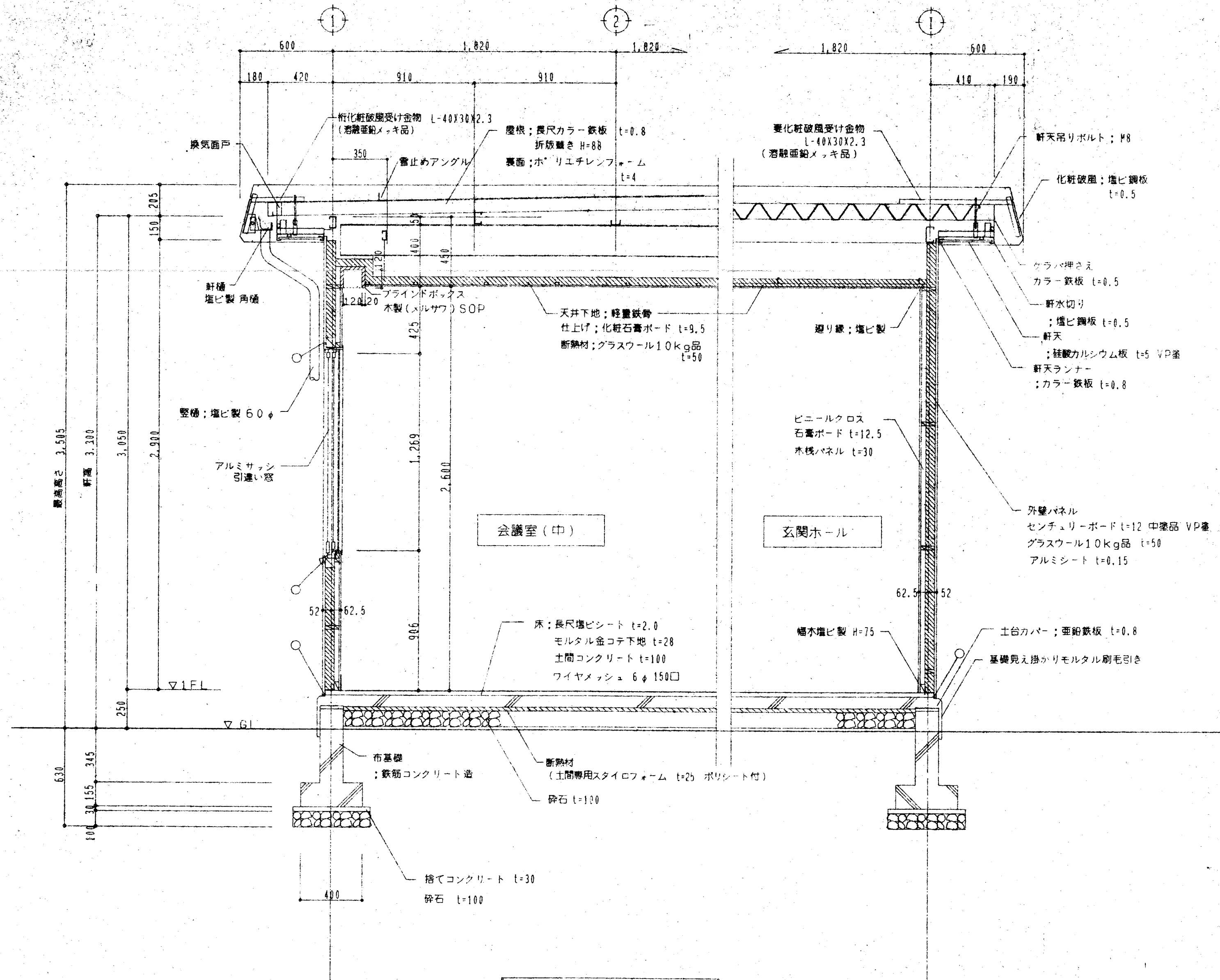


断面図 1/100



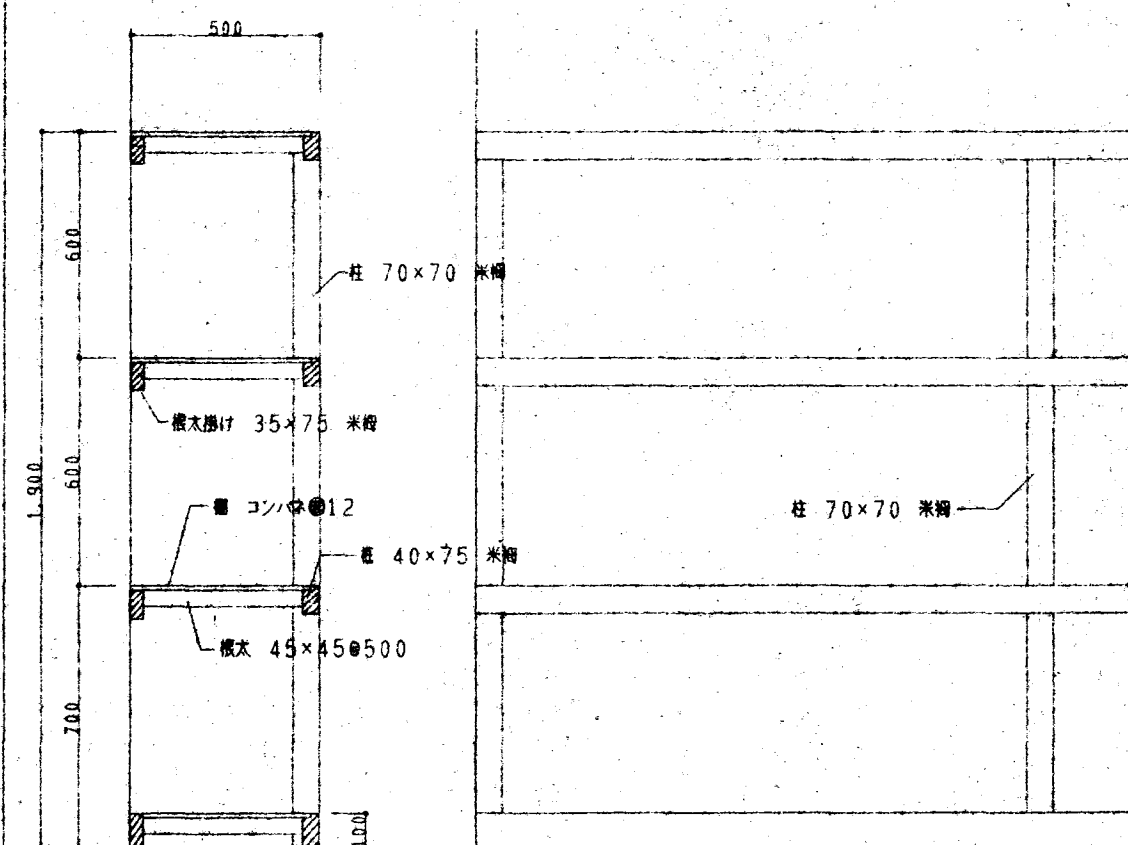
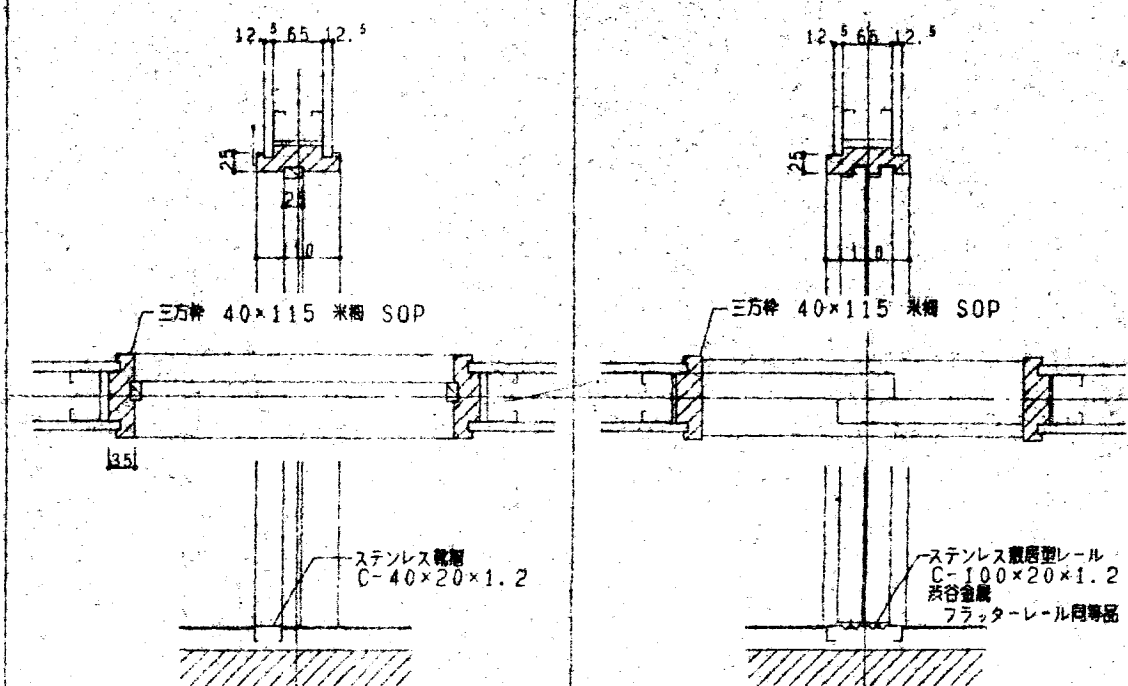
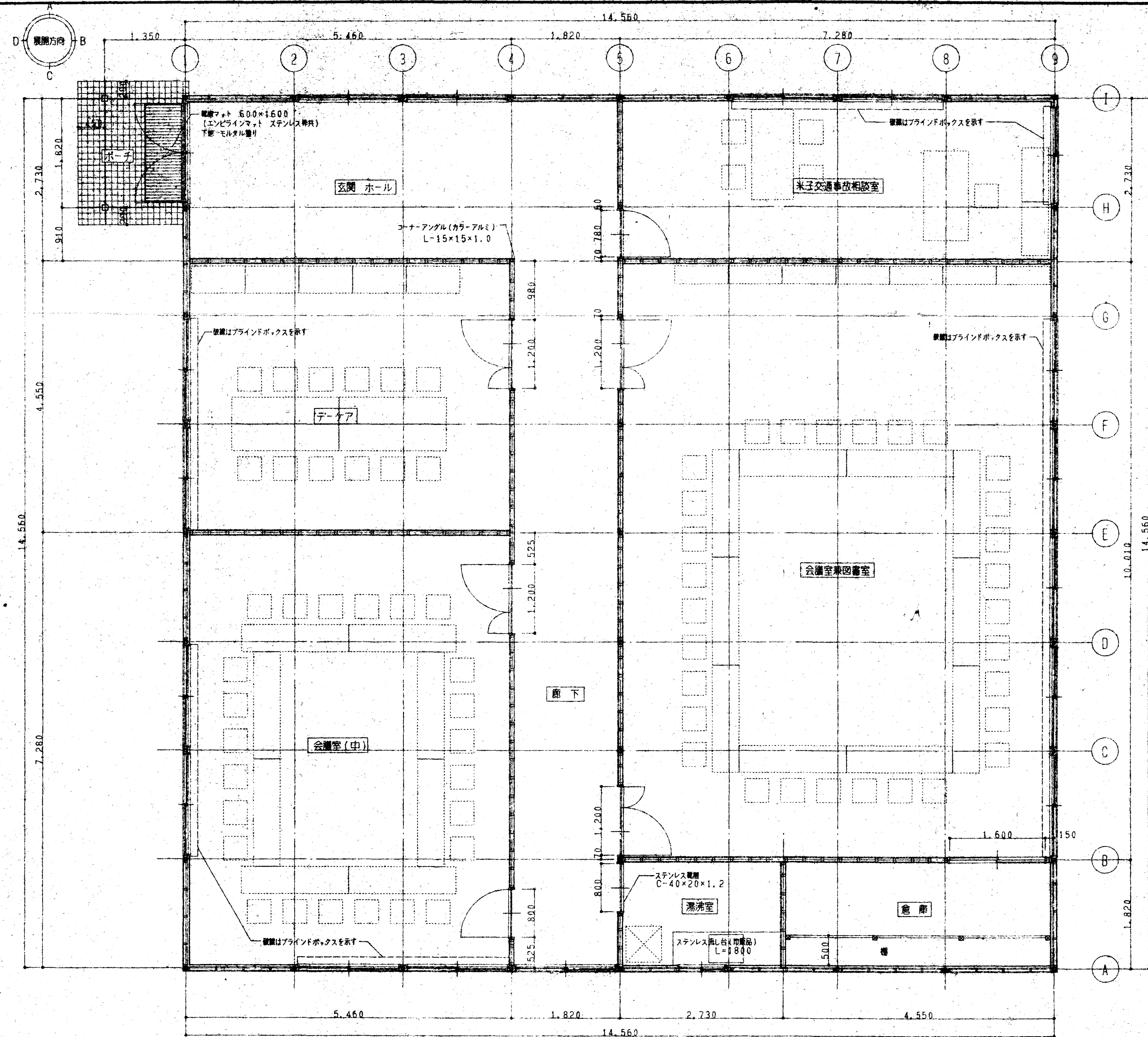
断面図 1/100

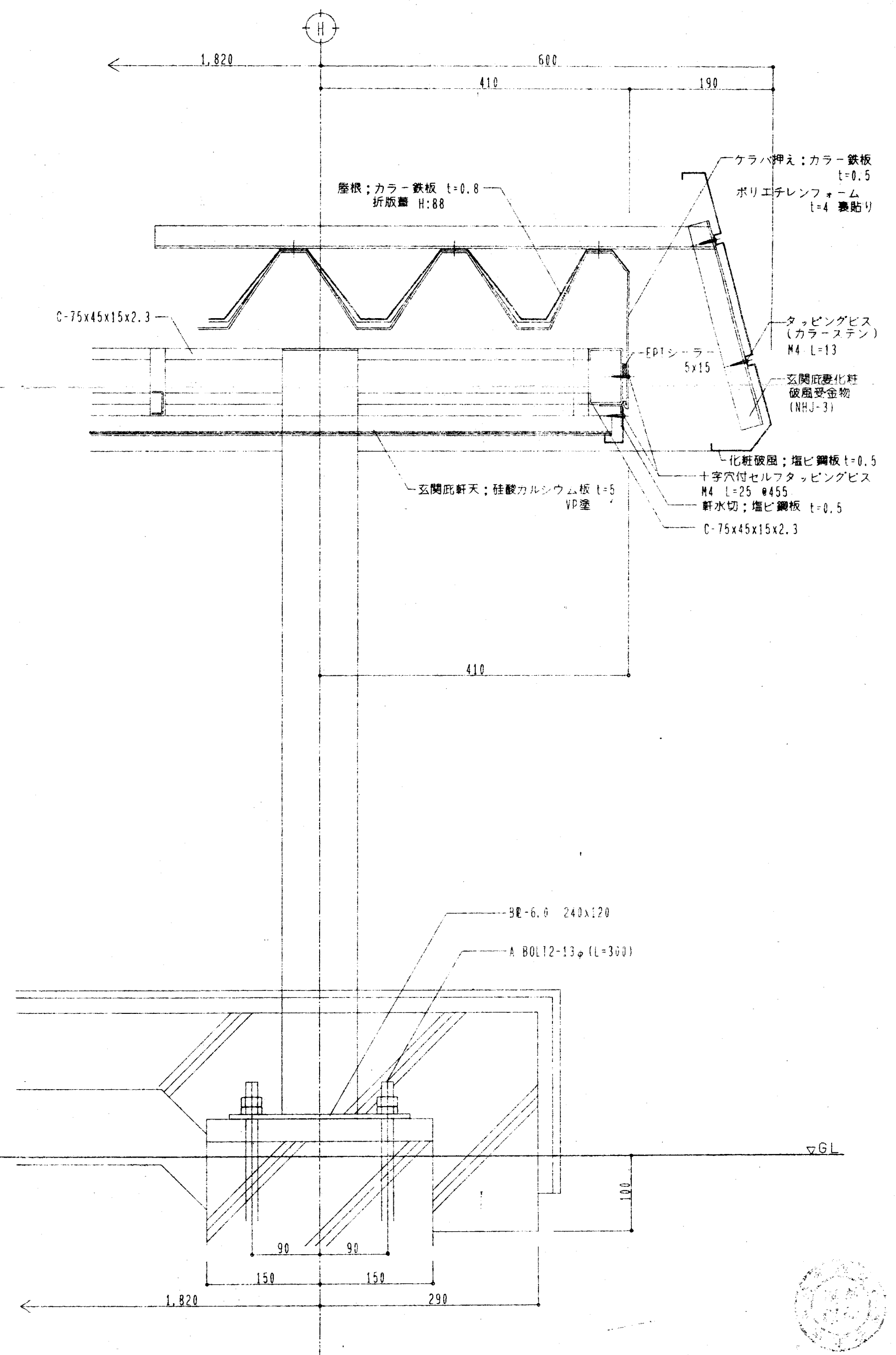
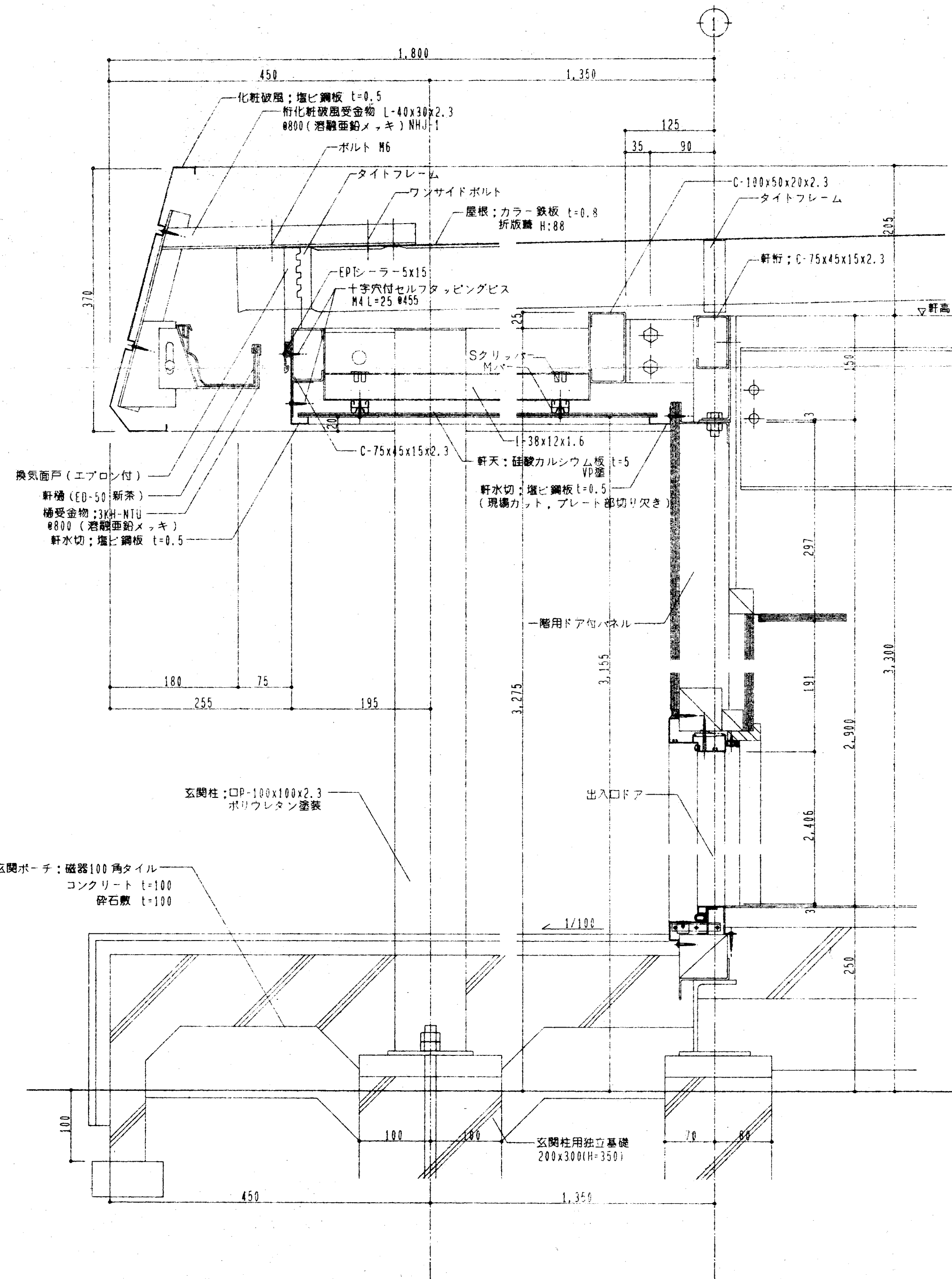


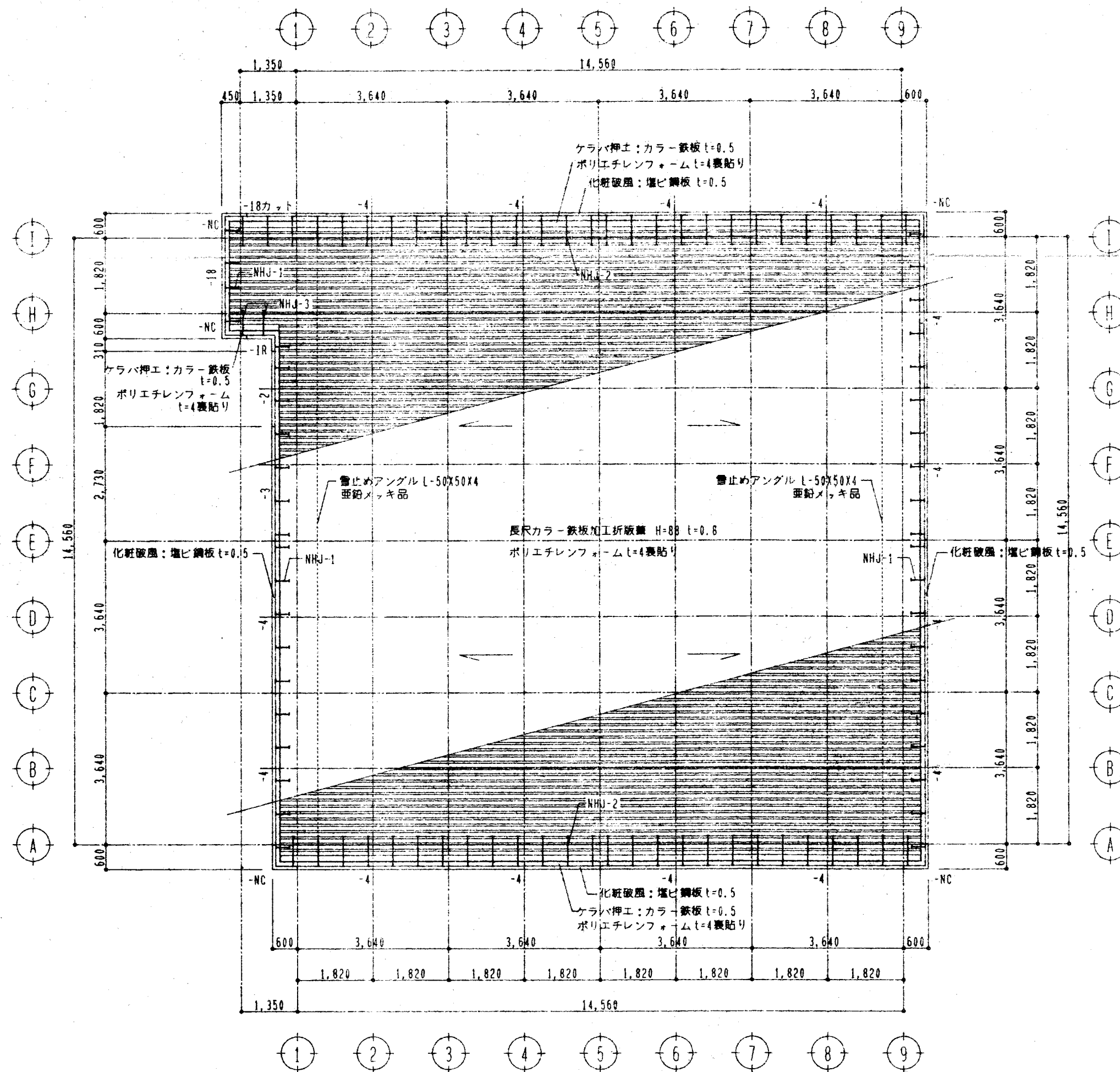


○は、変成シリコン系シーリングを表す

矩計図 1/20



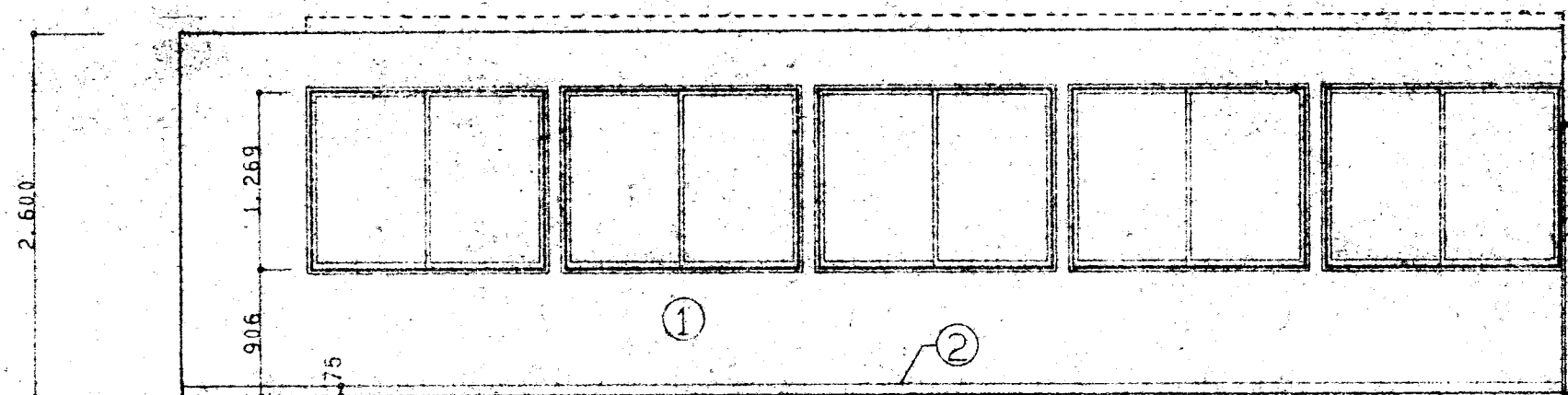




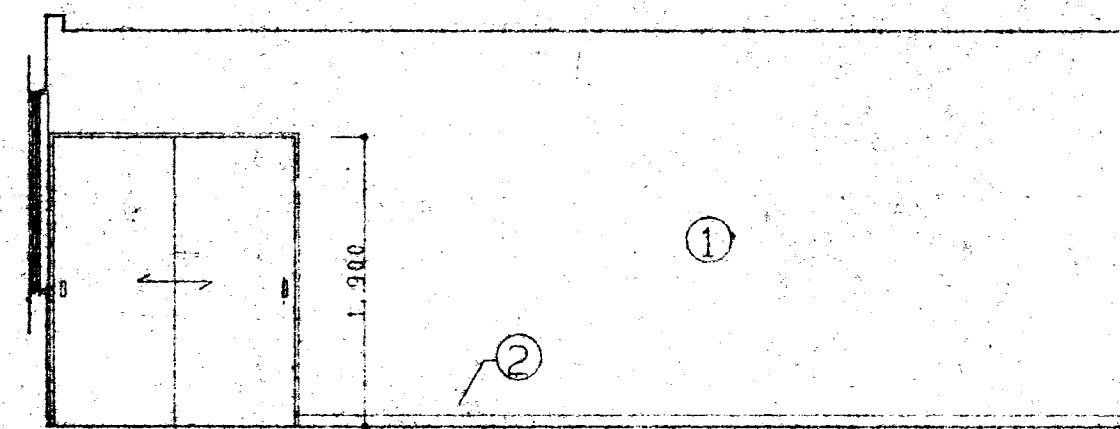
屋根伏図 1/100

化粧破風の頭記号はLAKHとする

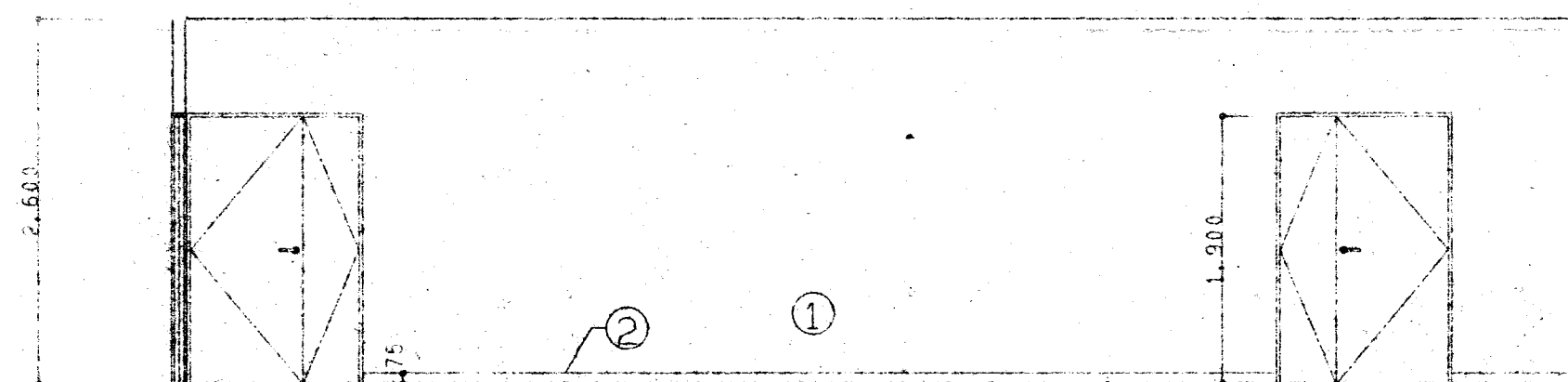




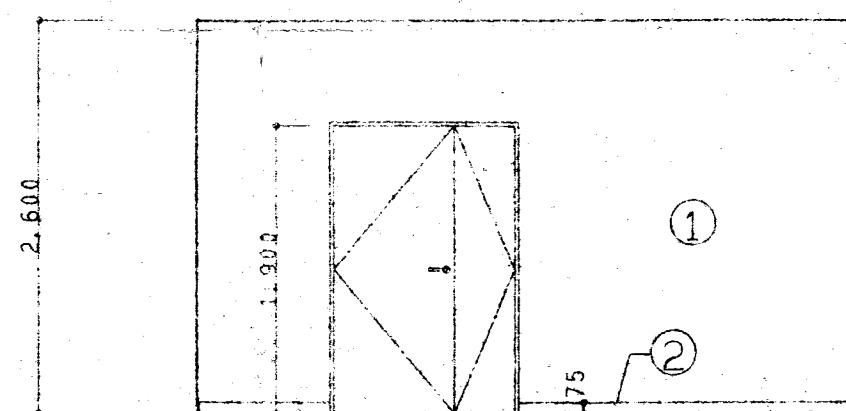
会議室兼図書室 B面



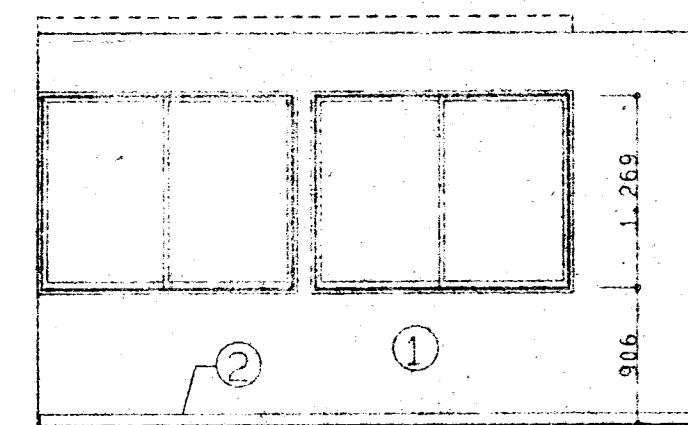
会議室兼図書室 C面



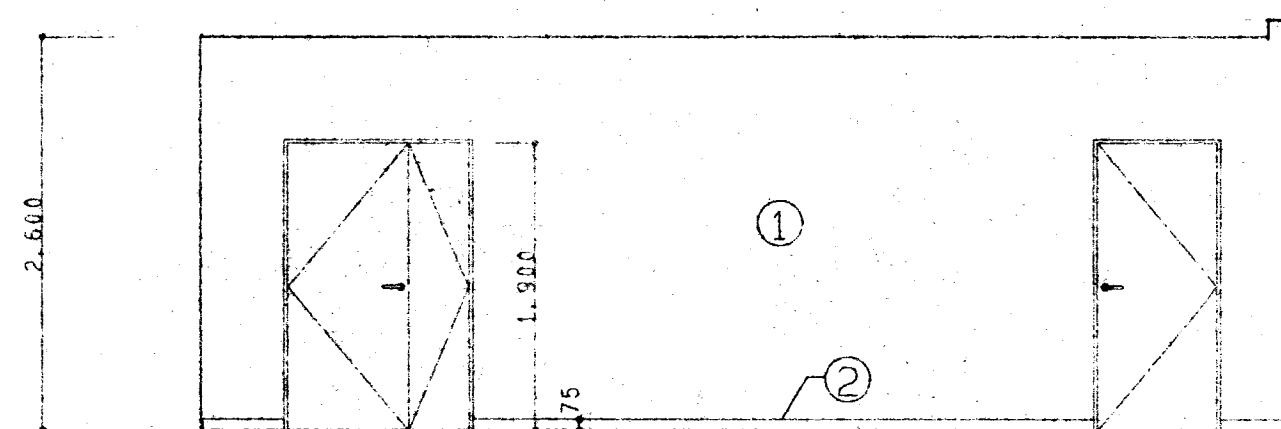
会議室兼図書室 D面



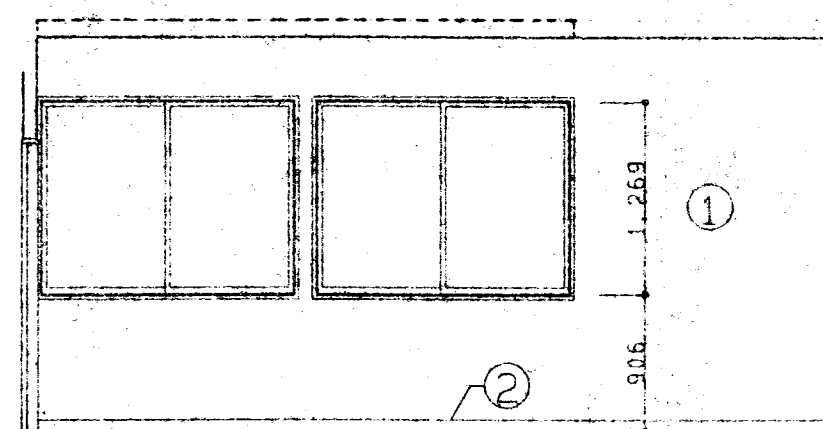
デッキ B面



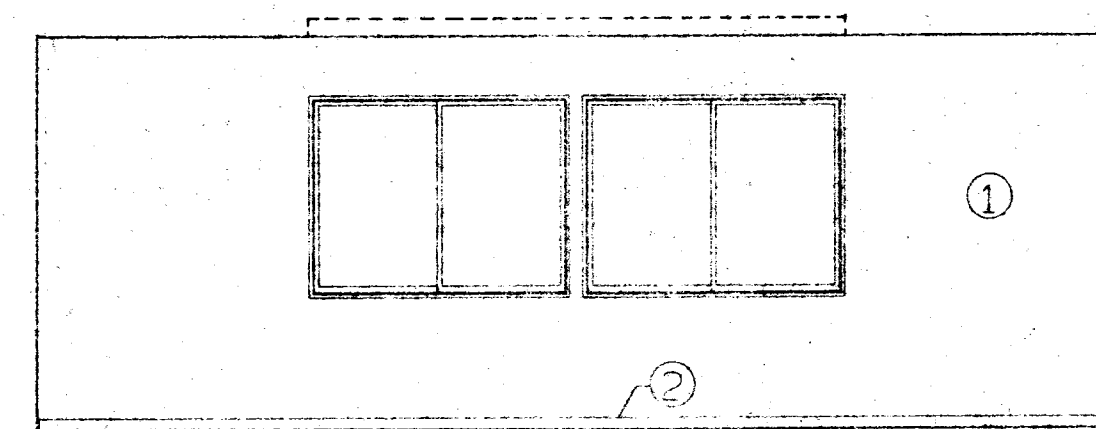
デッキ D面



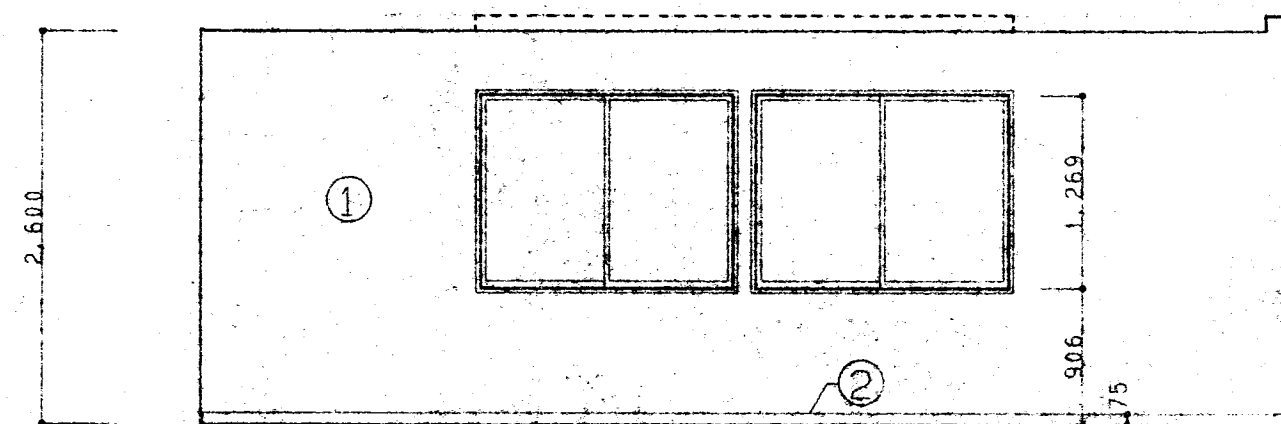
会議室(中) B面



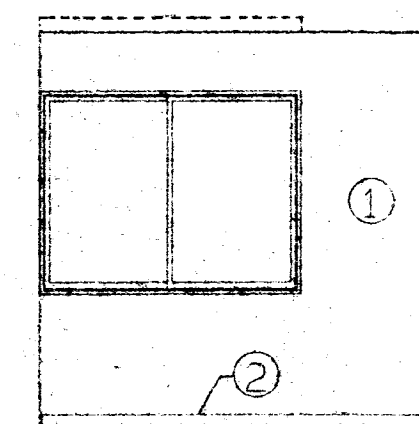
会議室(中) C面



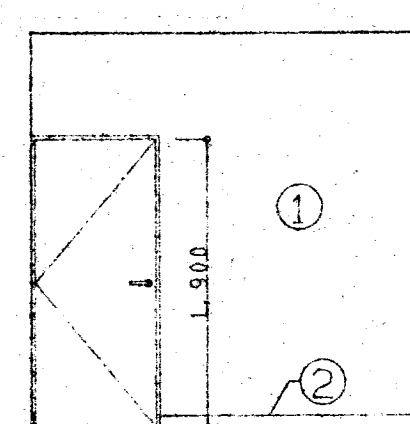
会議室(中) D面



米子交通事故相談室 A面



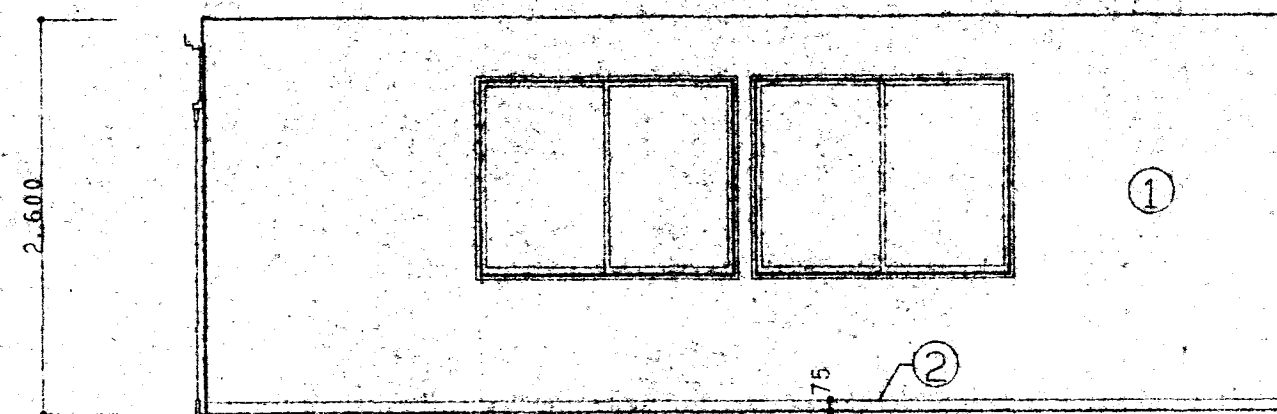
米子交通事故相談室 B面



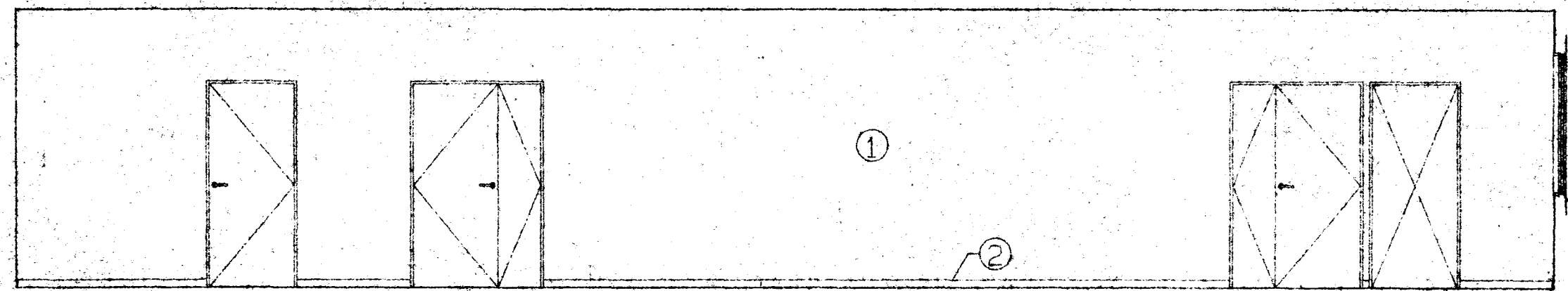
米子交通事故相談室 D面

- ① PB2.5下地 ビニールクロス貼
- ② 塩ビ製巾木 H=75

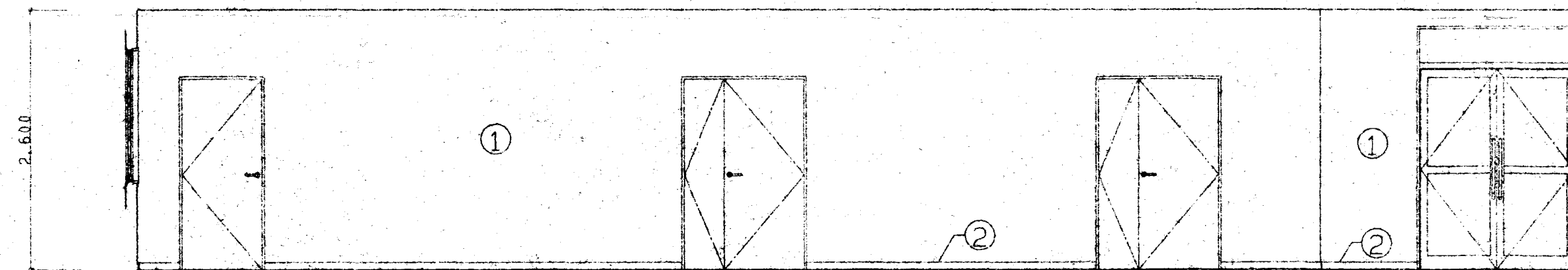




玄関ホール・廊下 A面

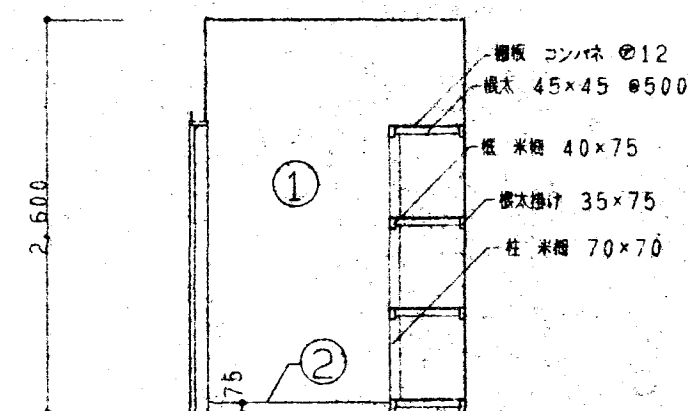


玄関ホール・廊下 B面

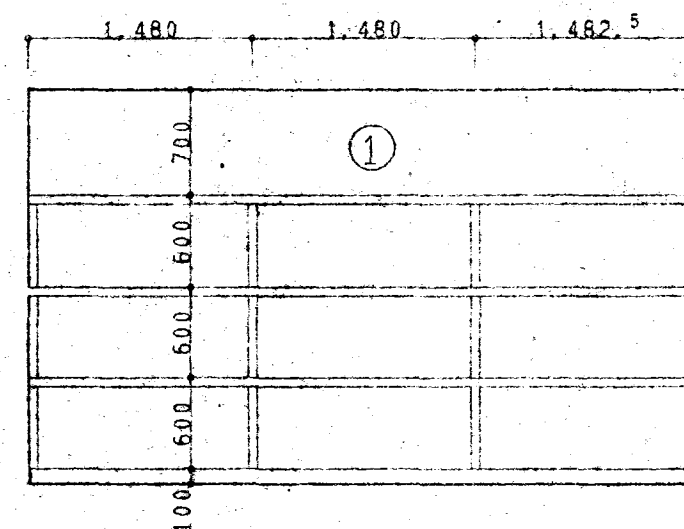


玄関ホール・廊下 D面

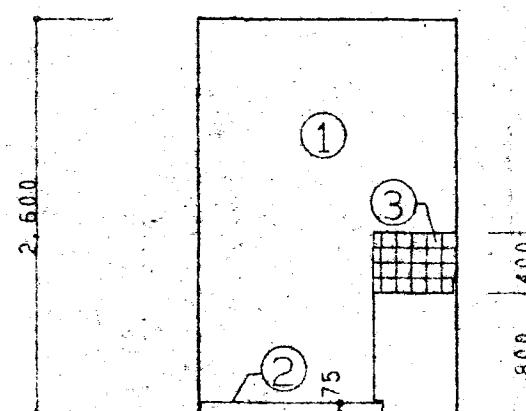
- ① PB①2.5下地 ビニールクロス貼り
- ② 塩ビ製巾木 H=75
- ③ 耐水PB①2.5下地 陶器質100角タイル貼り



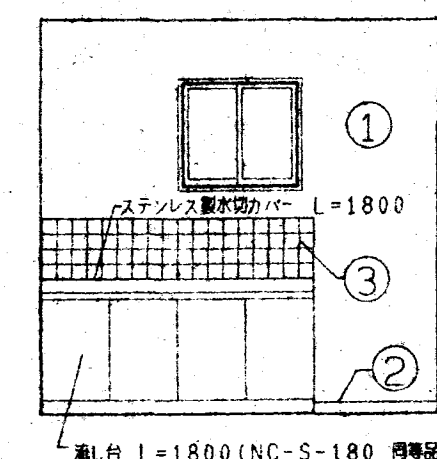
倉庫 B面



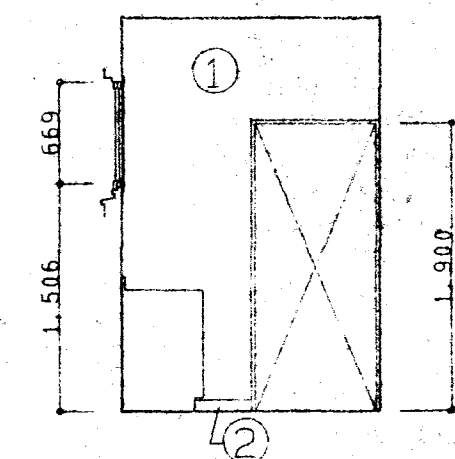
倉庫 C面



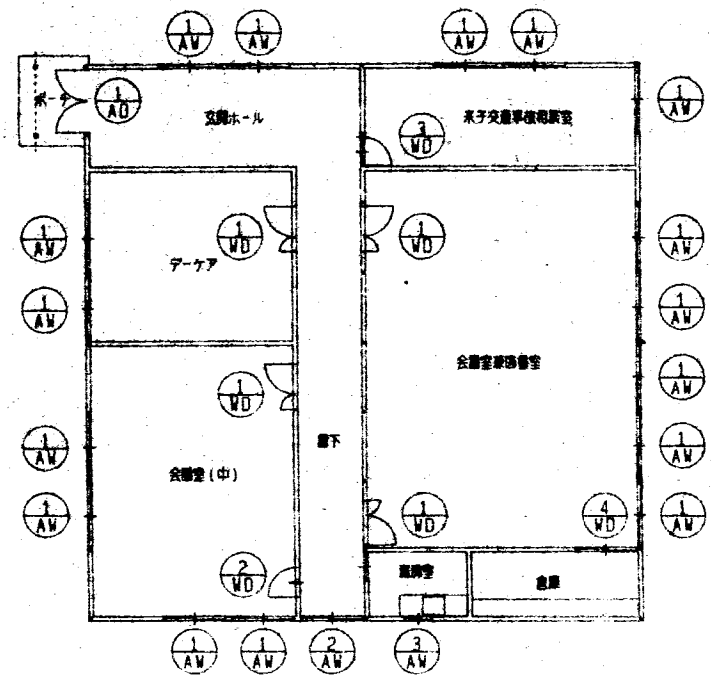
湯沸室 B面



湯沸室 C面



湯沸室 D面

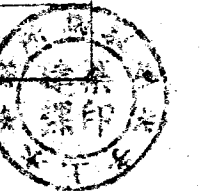


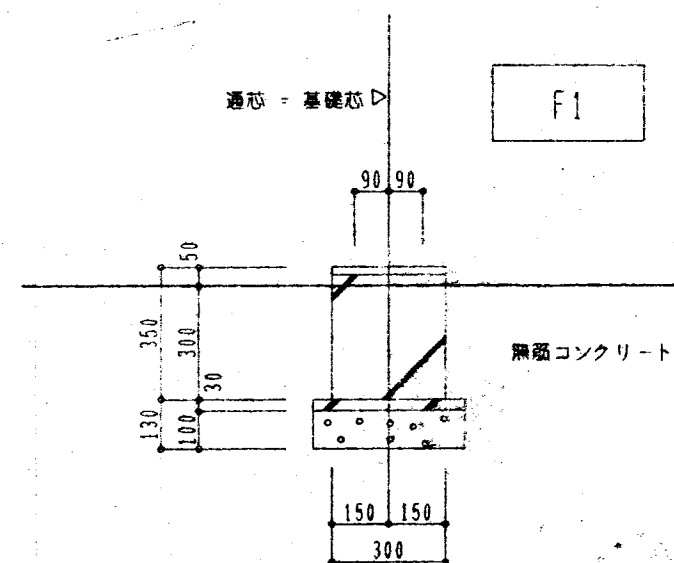
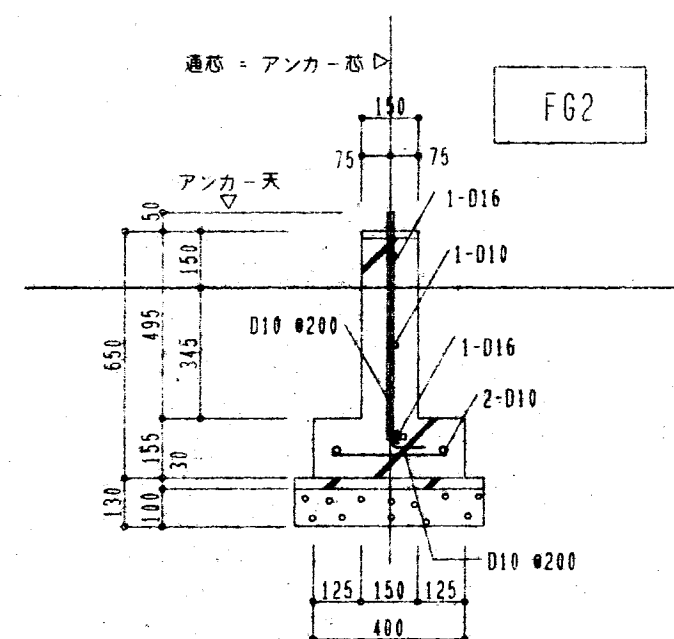
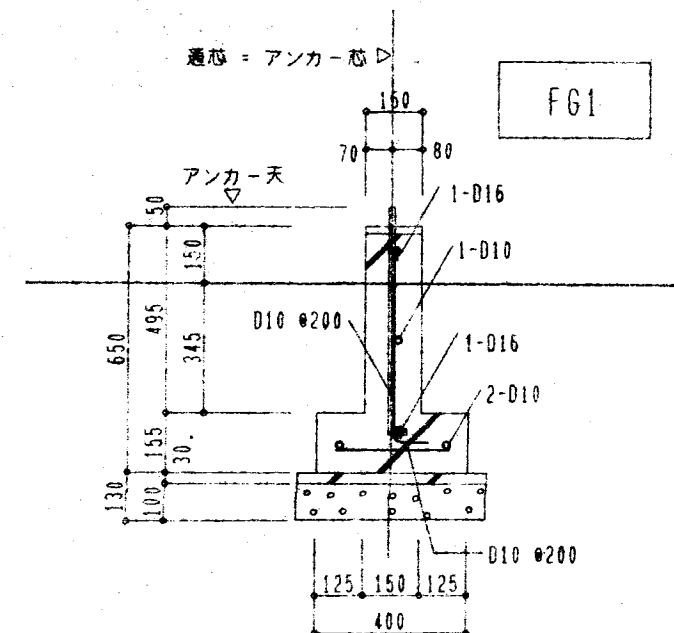
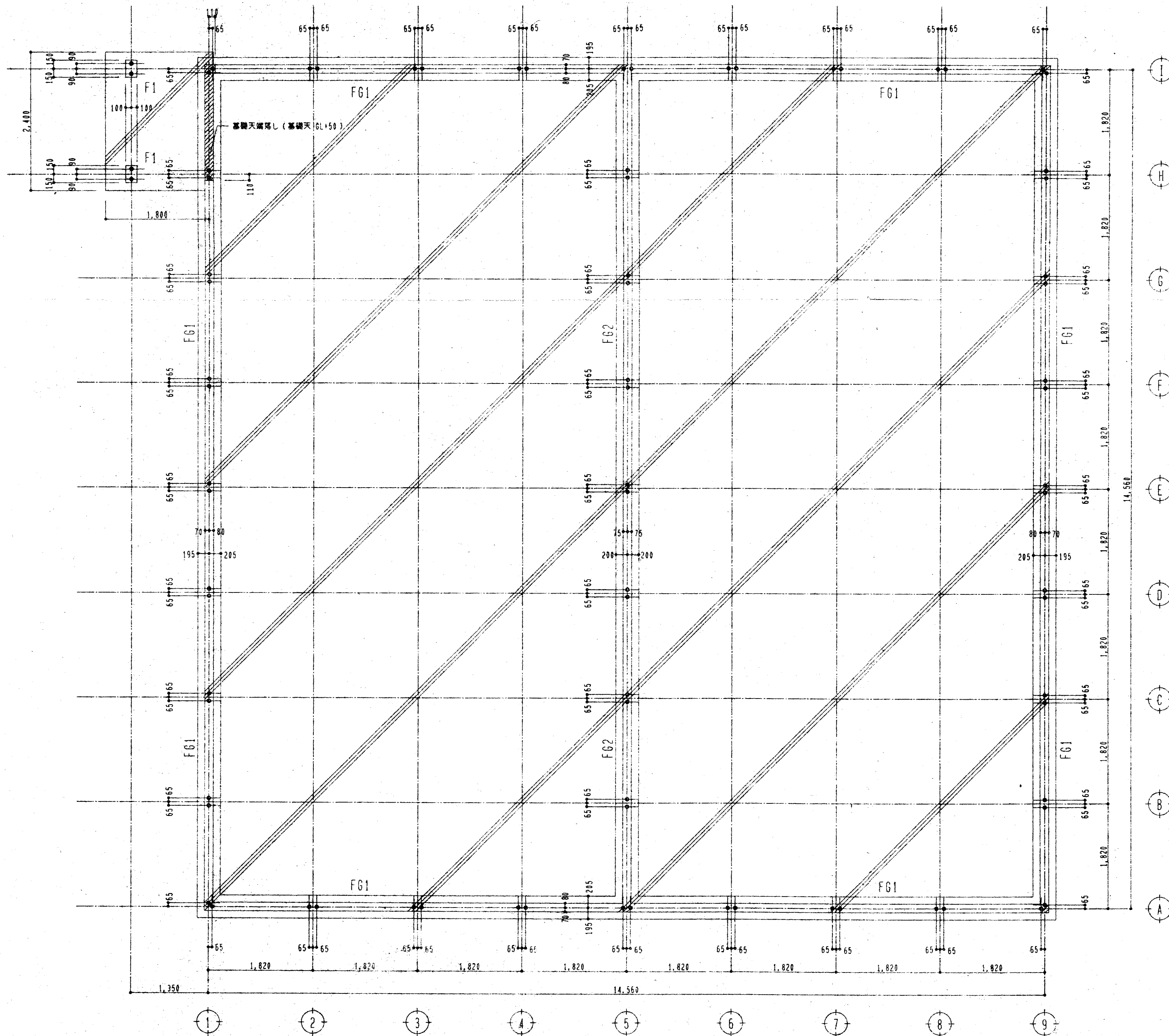
建具キープラン図 S=1:200

特記事項

- 1) 建具金物は特記無き限りステンレス製 (SUS304) とし、監督員に見本を提出し承認を受けてから使用すること。
- 2) ハンドル、クレセント、レバーハンドル、引き手は、FL+1500以下の位置に取り付けること。
- 3) 金属製、木製建具共にH=1800以上は丁番3枚吊りとする。

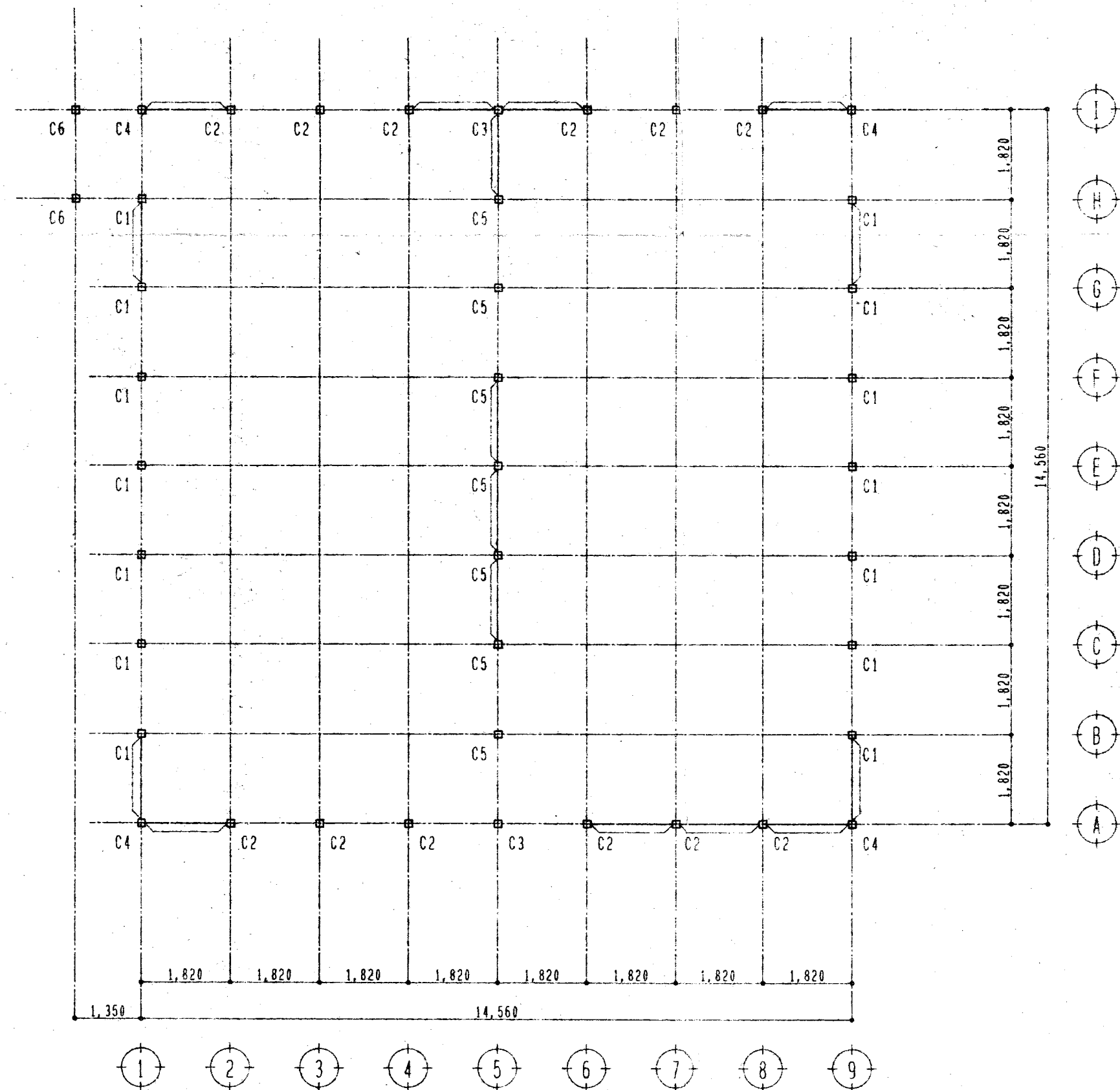
符号	数量	① AW	アルミ製引違い窓	16	② AW	アルミ製引違い窓	1	③ AW	アルミ製引違い窓	1	④ AD	アルミ製両開きドア (ランマ付)	1
姿 図													
			2S1713			2S11613			0707			AD5R1524	
仕 上			カラーアルミ (艶消しブロンズ)			カラーアルミ (艶消しブロンズ)			カラーアルミ (艶消しブロンズ)			カラーアルミ (艶消しブロンズ)	
見 込			80			80			80			80	
硝 子			透明ガラス ③			透明ガラス ③			型板ガラス ④			上) 透明ガラス ③、腰) 型板ガラス ⑥、ランマ) 透明ガラス ③	
金 物			クレセント等附属金物一式			クレセント等附属金物一式			クレセント等附属金物一式			丁番、プッシュプル錠、固定ハンドル、ドアクローザー、フランス落し	
備 考													
符号	数量	① WD	木製親子ドア	4	② WD	木製片開きドア	1	③ WD	木製片開きドア	1	④ WD	木製引違い戸	1
姿 図													
仕 上			ポリエステル化粧合板フラッシュ			ポリエステル化粧合板フラッシュ			ポリエステル化粧合板フラッシュ			ポリエステル化粧合板フラッシュ	
見 込			36			36			36			33	
硝 子			型板ガラス ②			型板ガラス ②			型板ガラス ②			型板ガラス ②	
金 物			レバーハンドル、丁番、戸当り、ドアクローザー、フランス落し			レバーハンドル、丁番、戸当り、ドアクローザー			レバーハンドル、丁番、戸当り、ドアクローザー、シリンダー錠			引き手、戸車	
備 考			木製ガラリ (塗装)			木製ガラリ (塗装)			木製ガラリ (塗装)			木製ガラリ (塗装)	



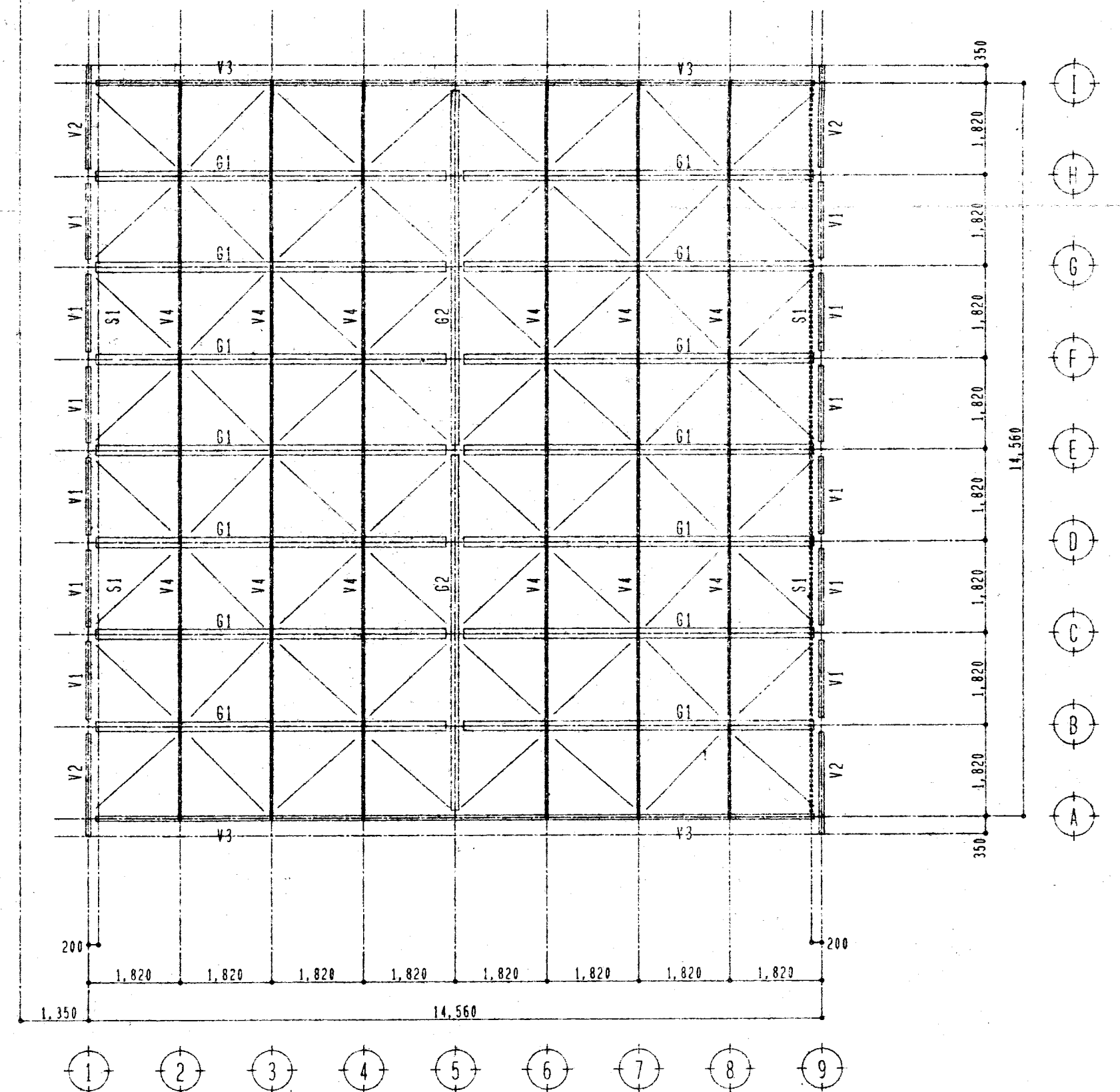


- A.BOLT 16φ L=600
- A.BOLT 13φ L=300 (玄関F1基礎のみ)

基礎コンクリート FC=210
土間コンクリート FC=210
捨てコンクリート FC=180
鉄筋 異形棒鋼 SD-295A



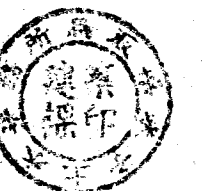
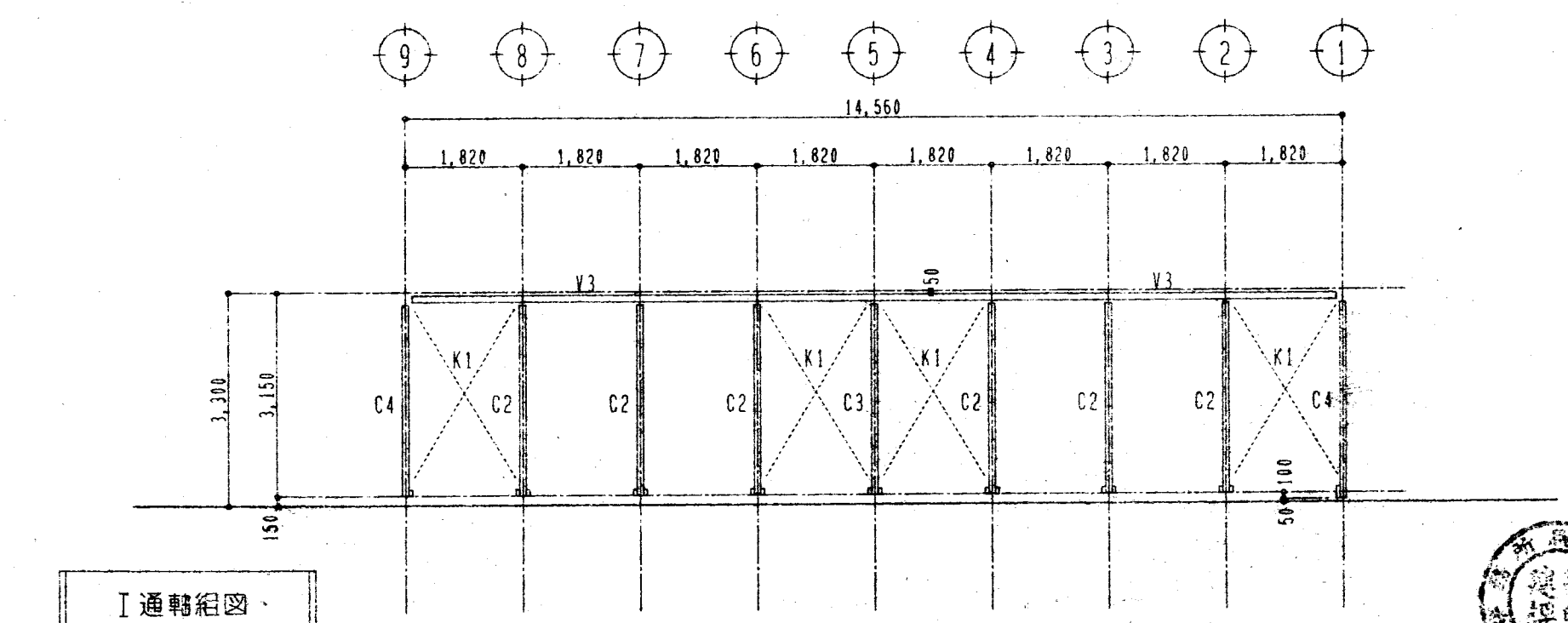
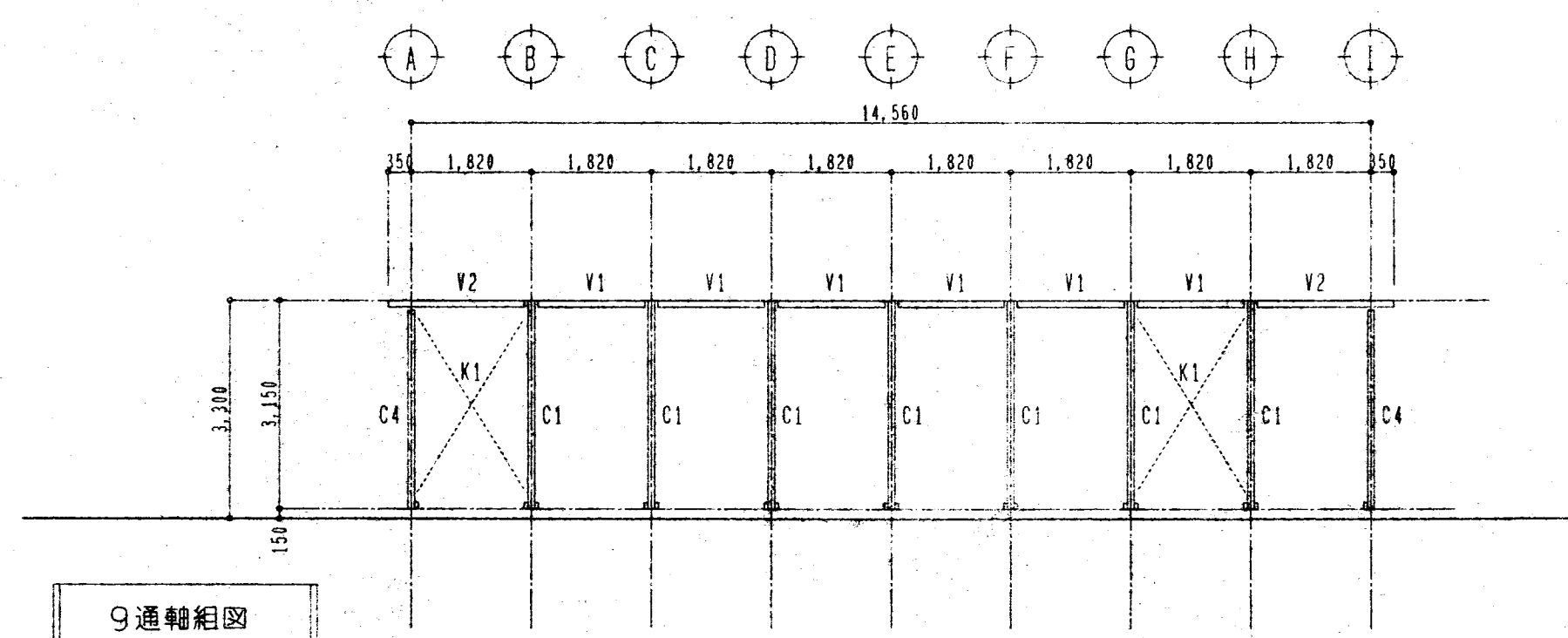
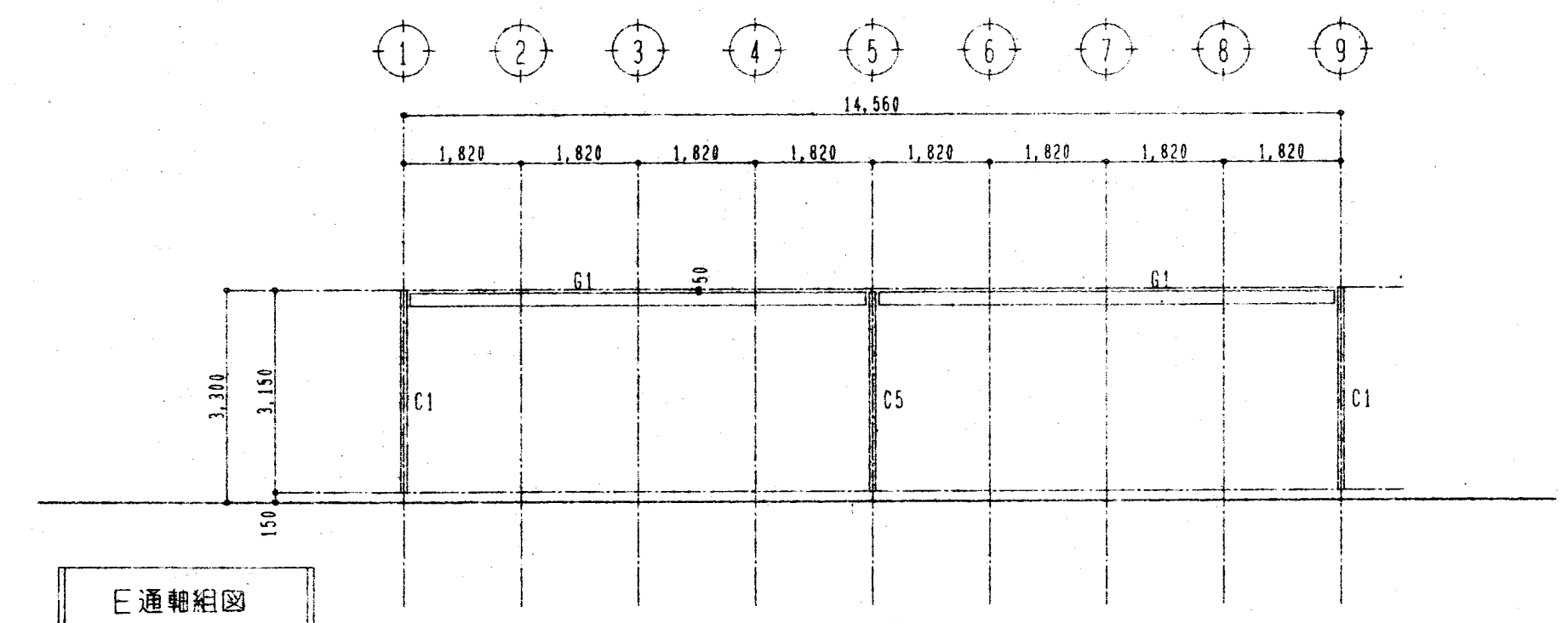
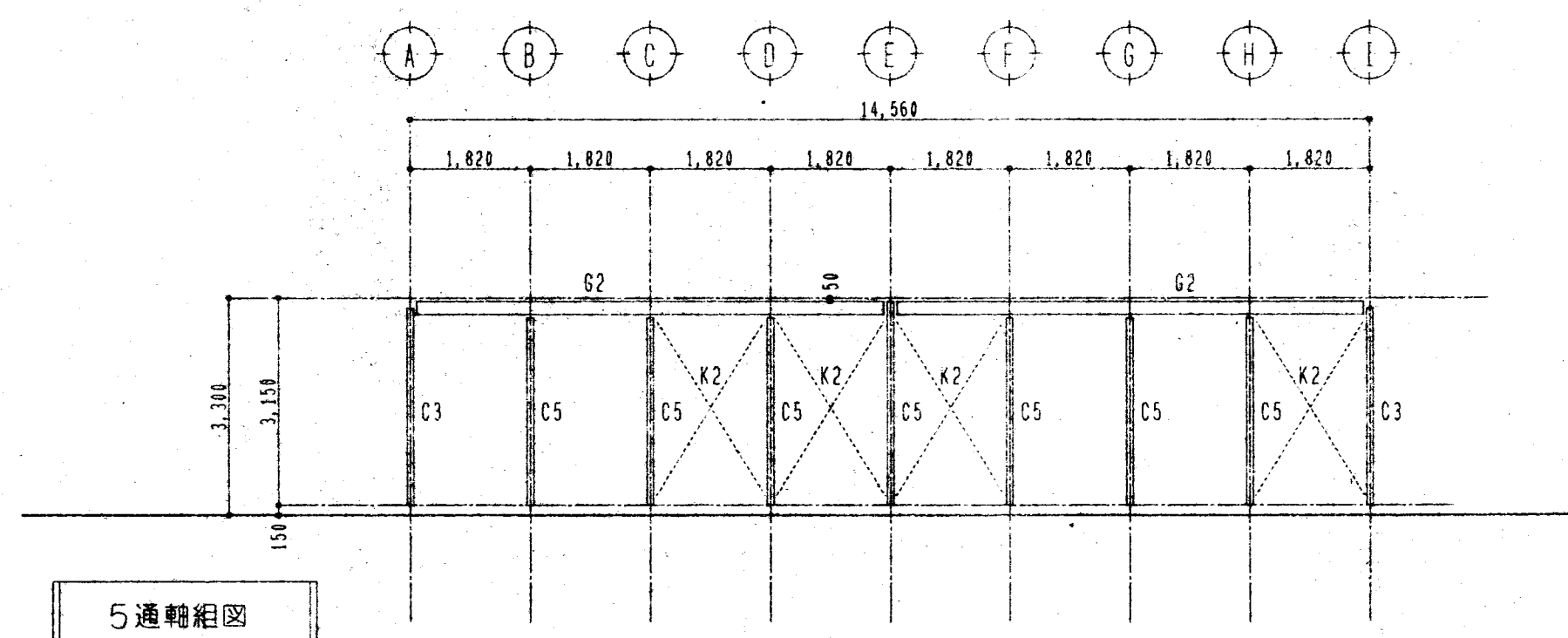
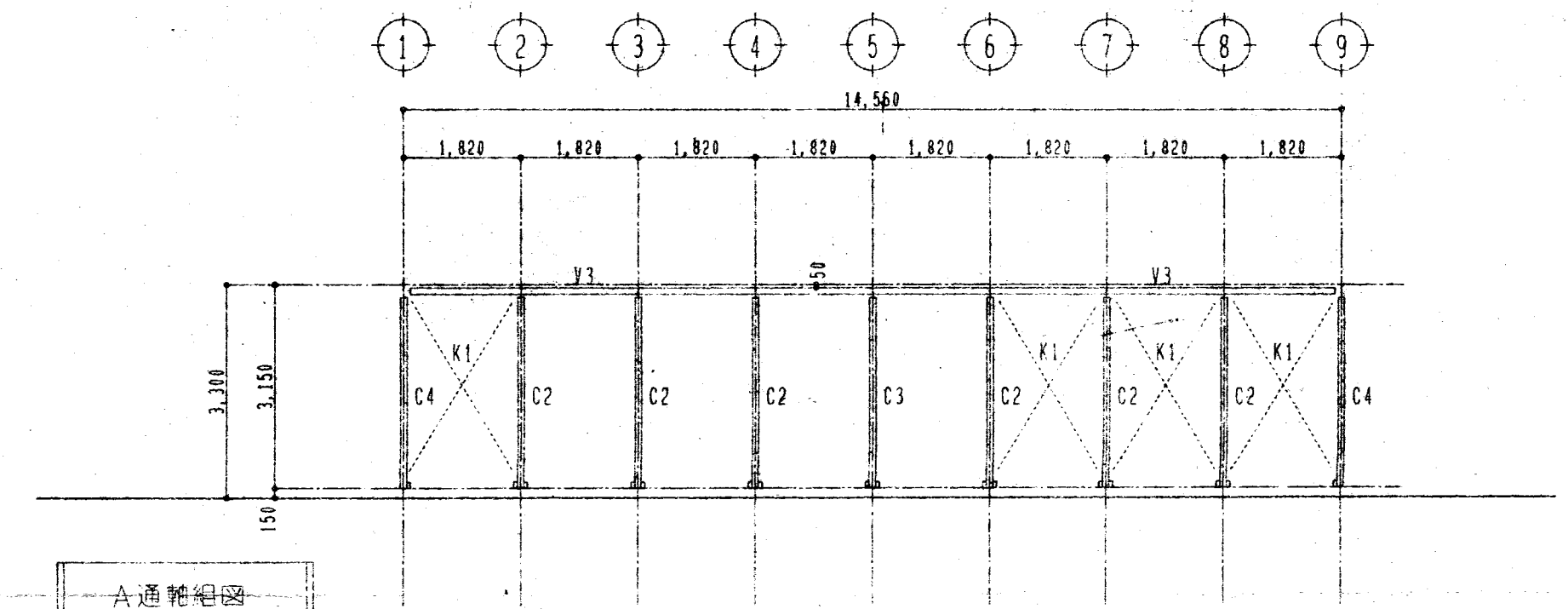
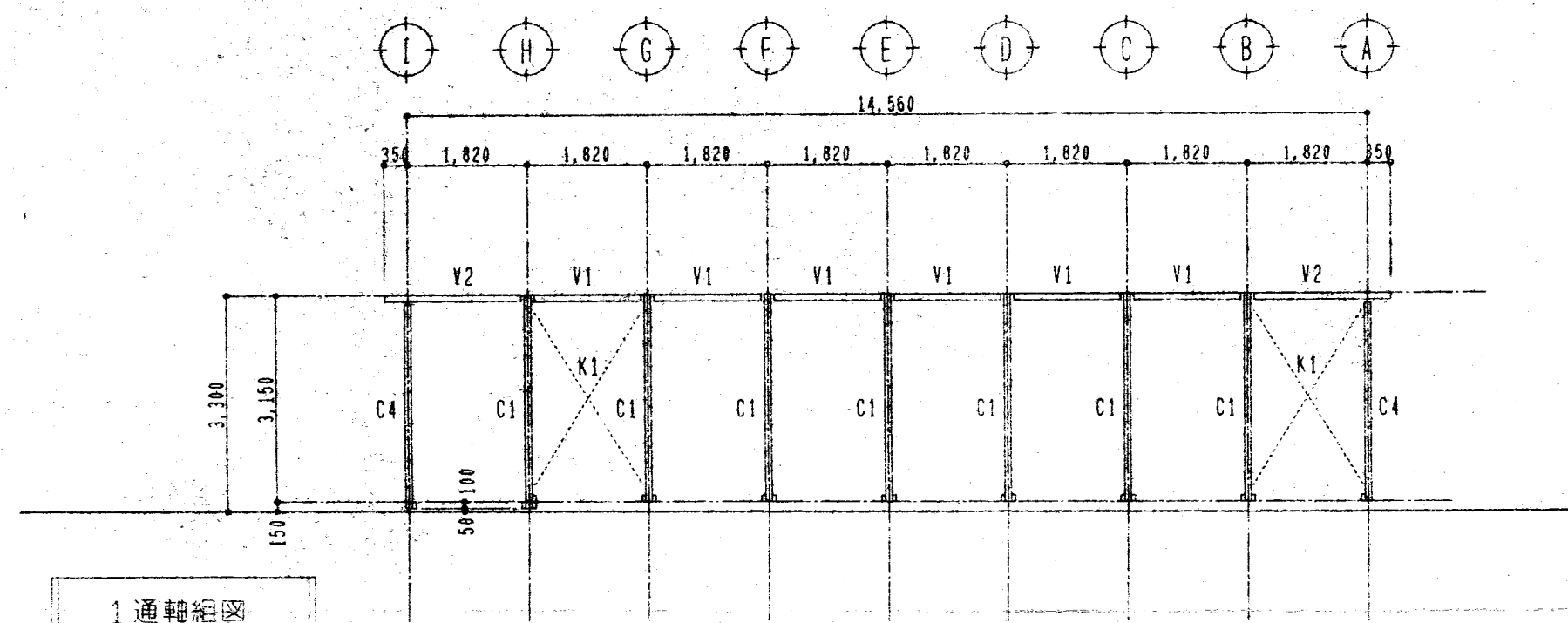
柱伏図 1/100

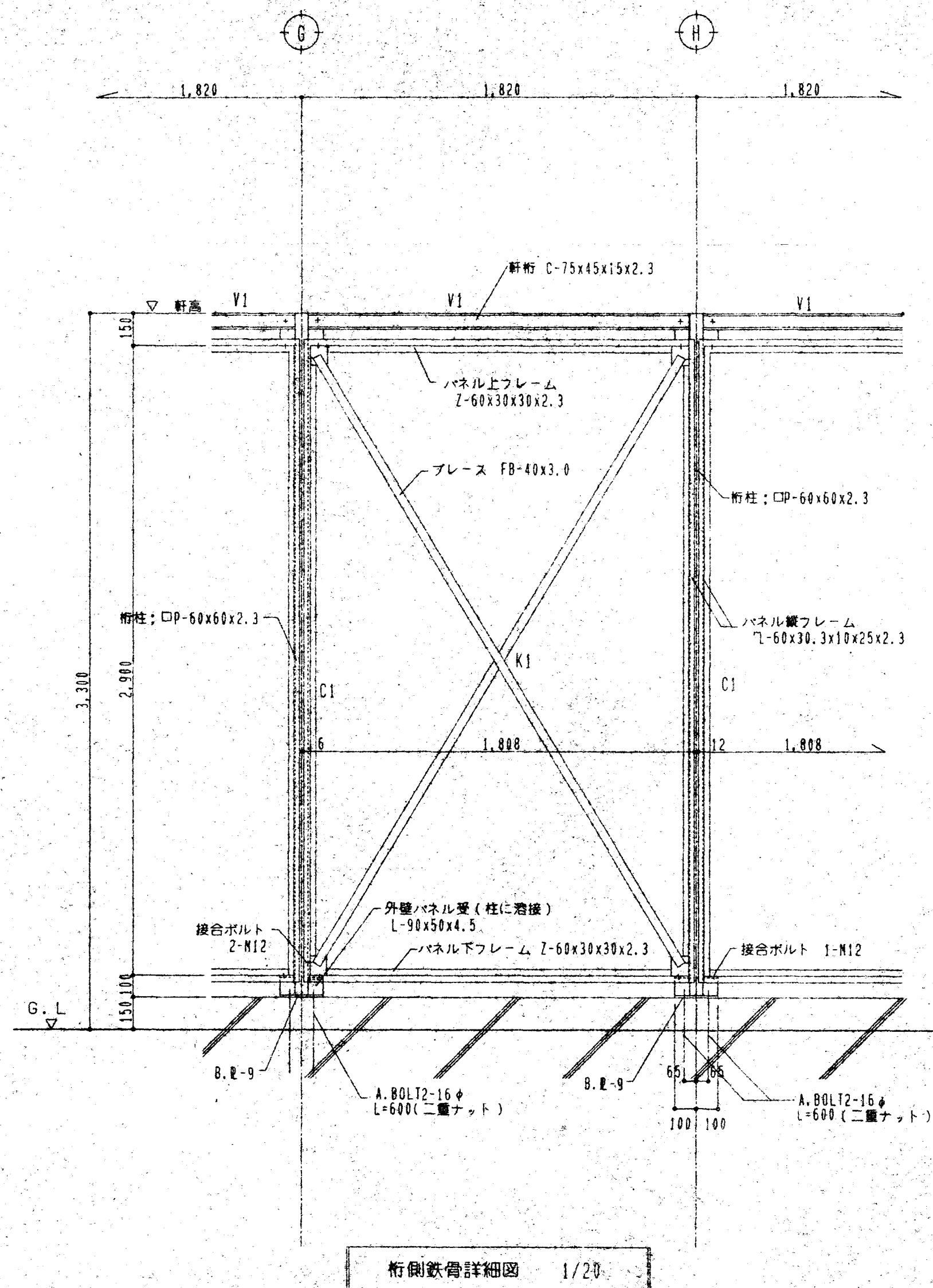


小屋伏図 1/100

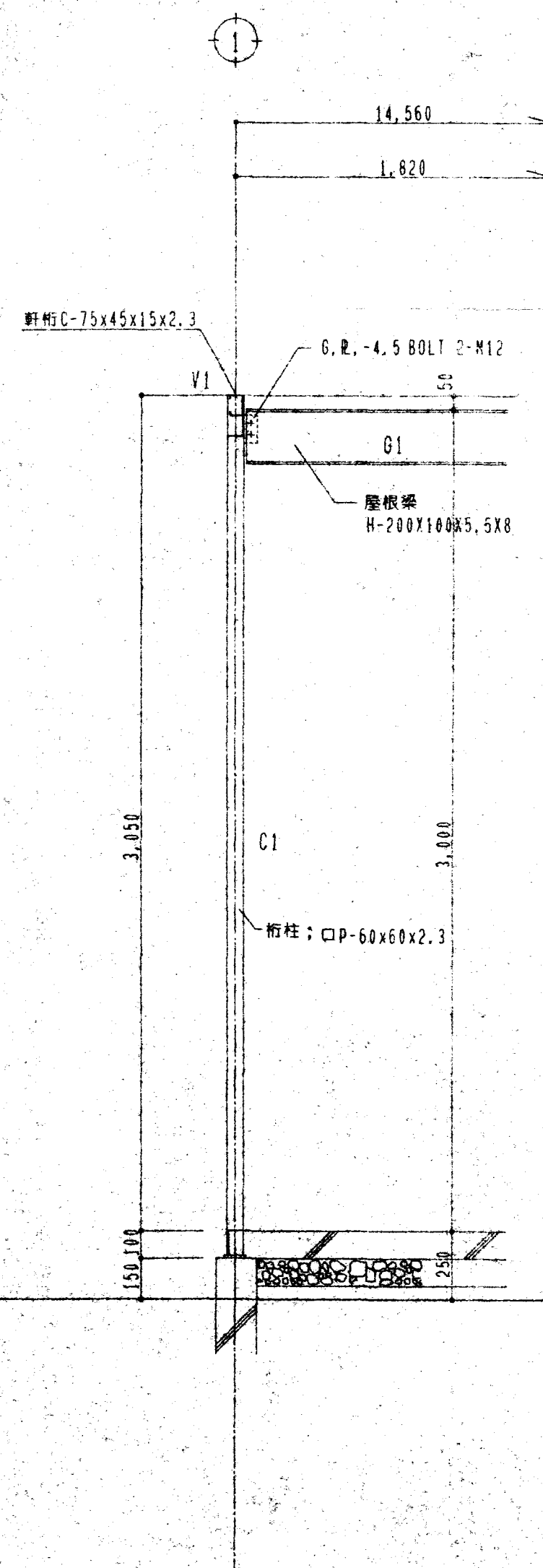


[illegible]

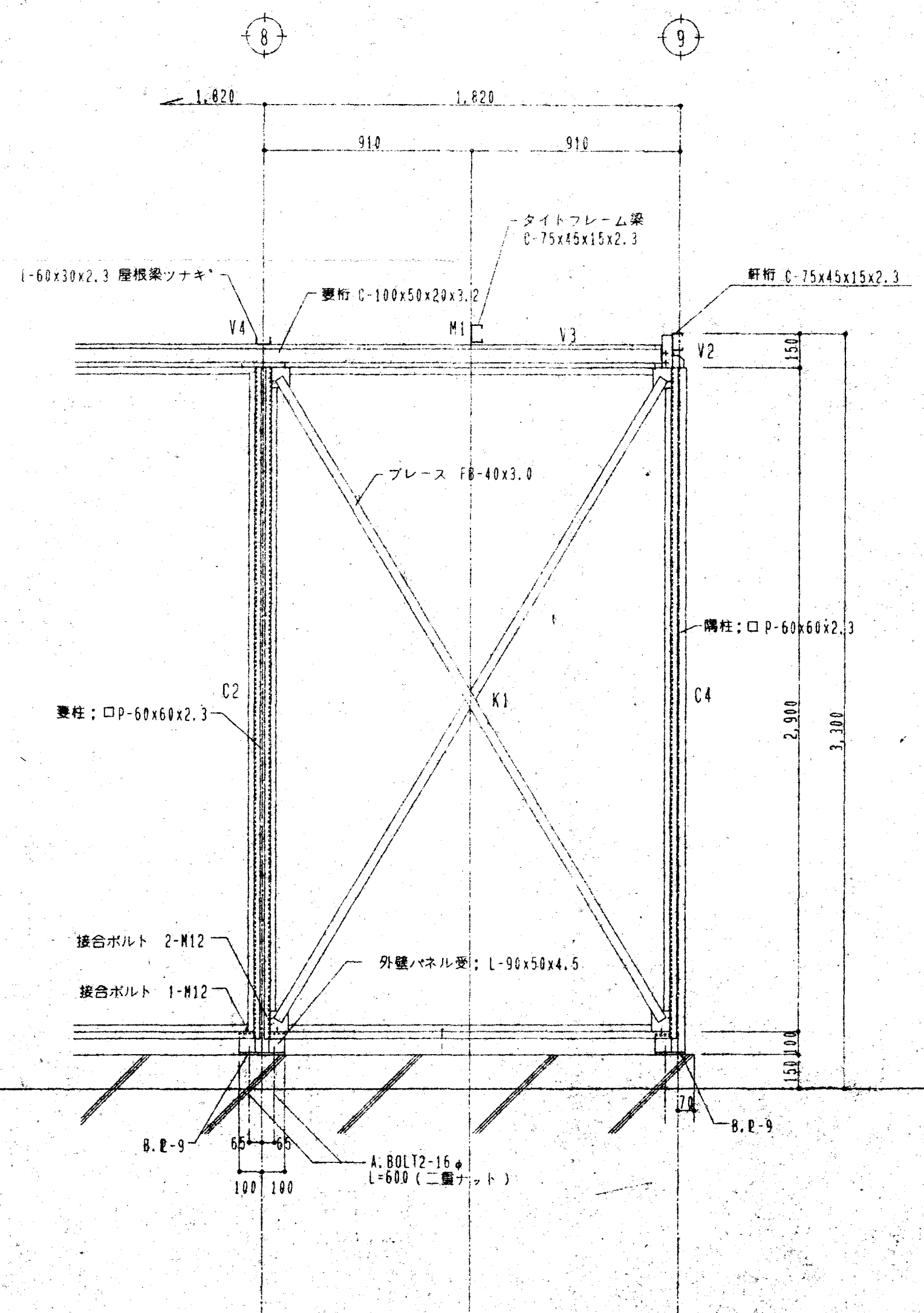


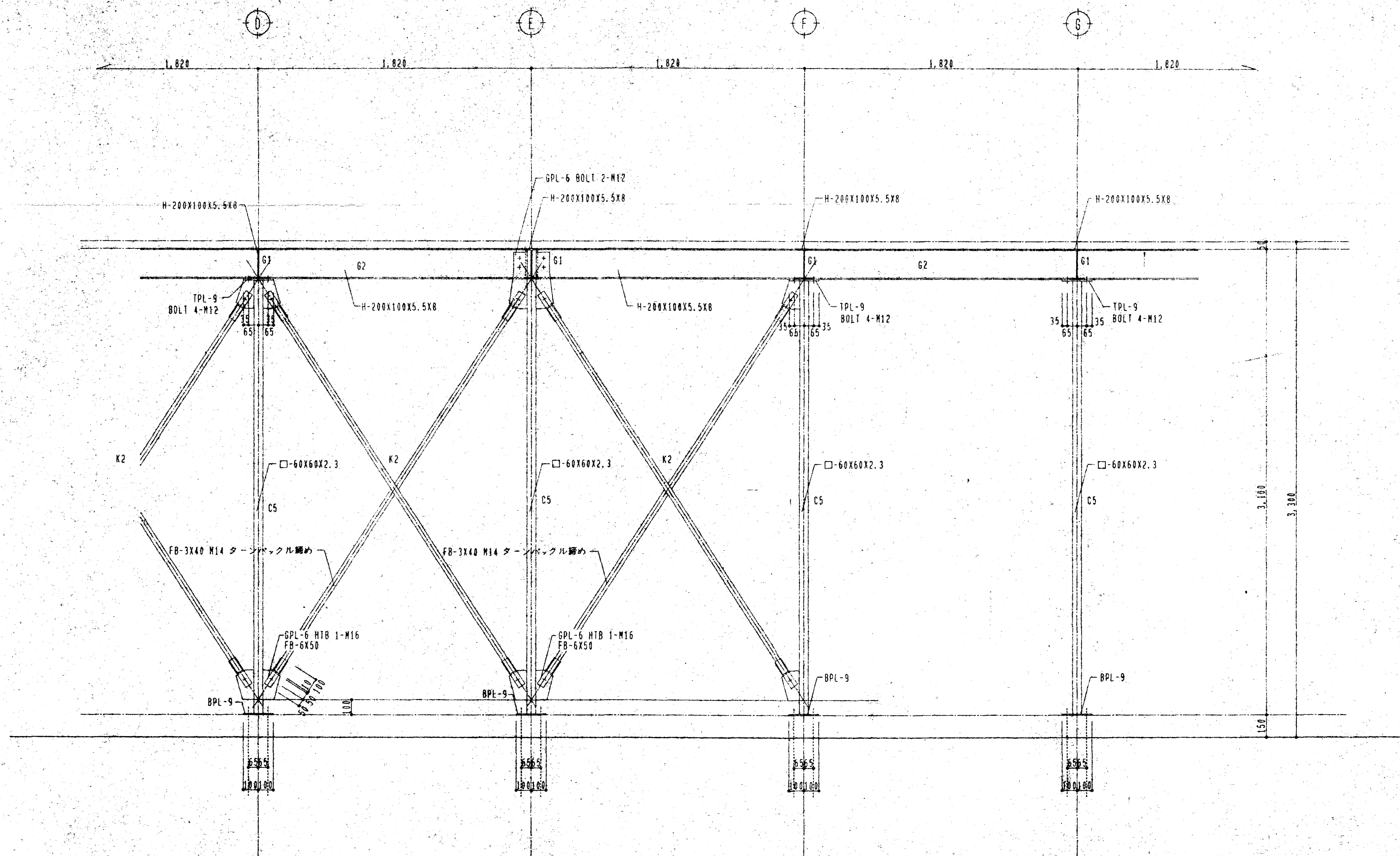


側面鉄骨詳細図 1/20

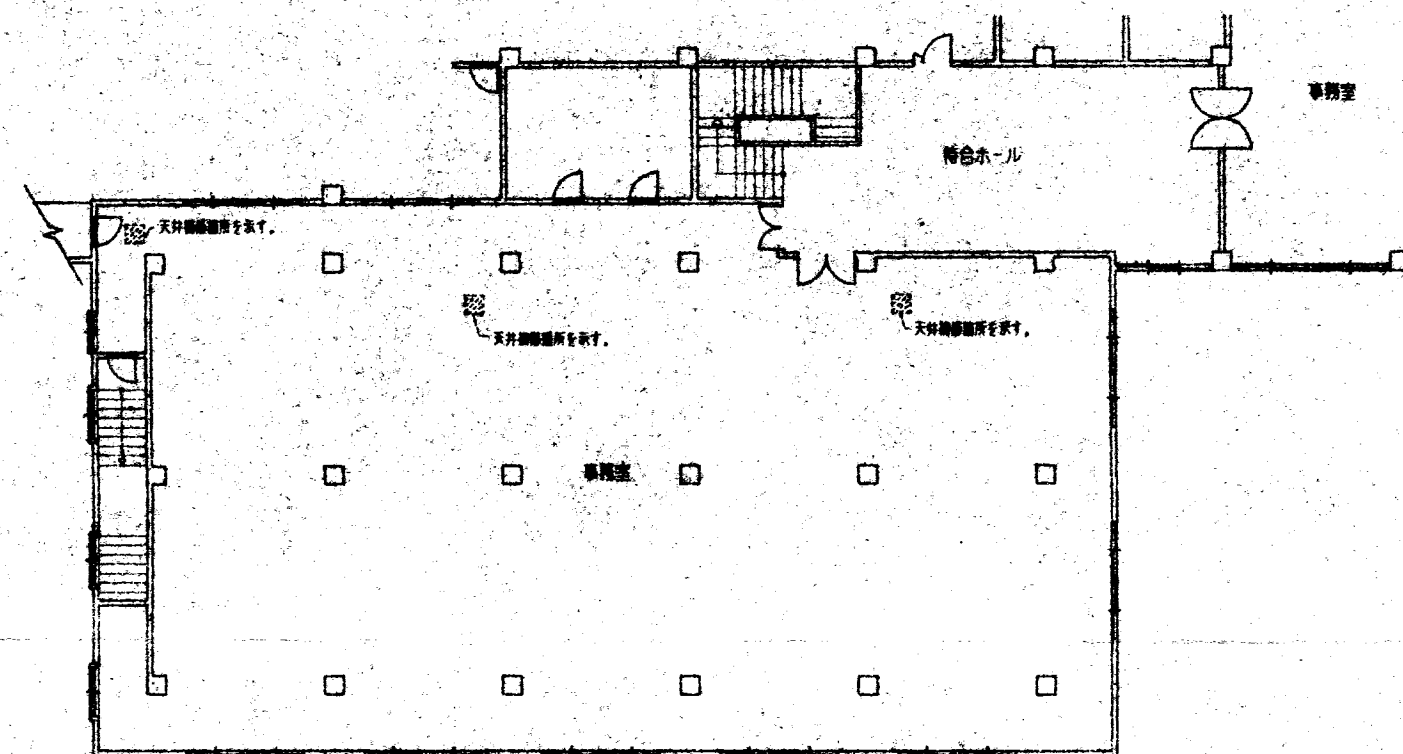


側面鉄骨詳細図 1/20



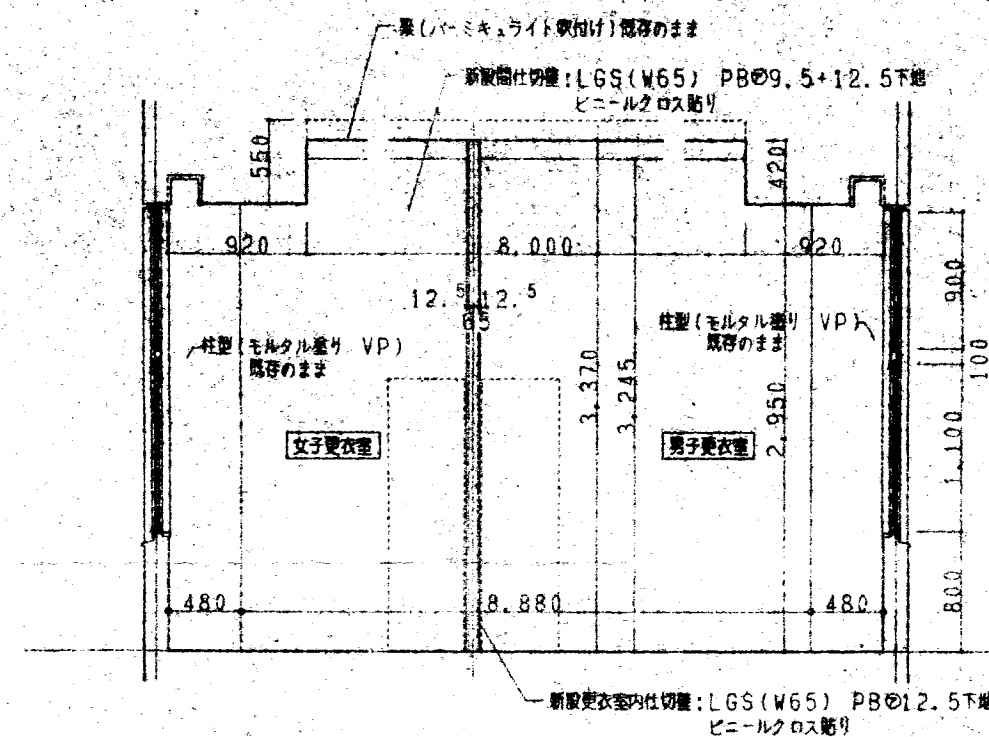


5通り鉄骨詳細図 1/20

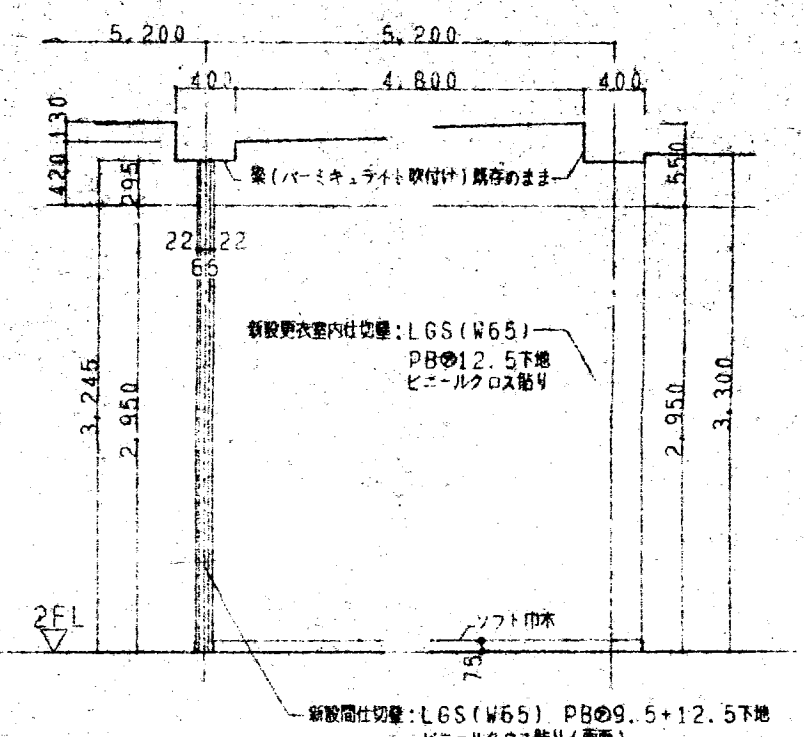


※天井補修：計3箇所（1箇所＝有孔吸音デッキ 303×606×3枚とす。）

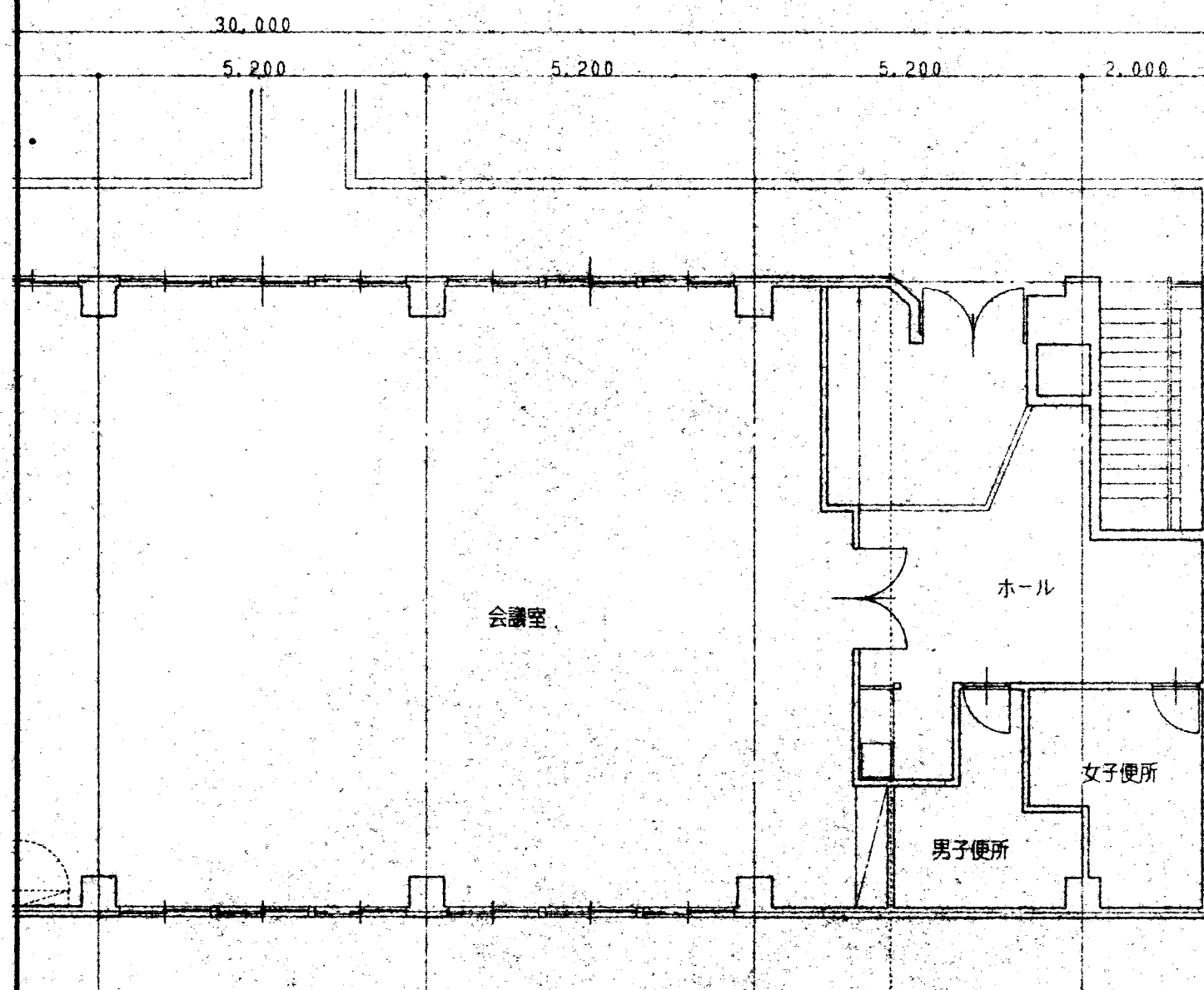
本館 2階事務室 天井補修箇所指示平面図 S=1:200



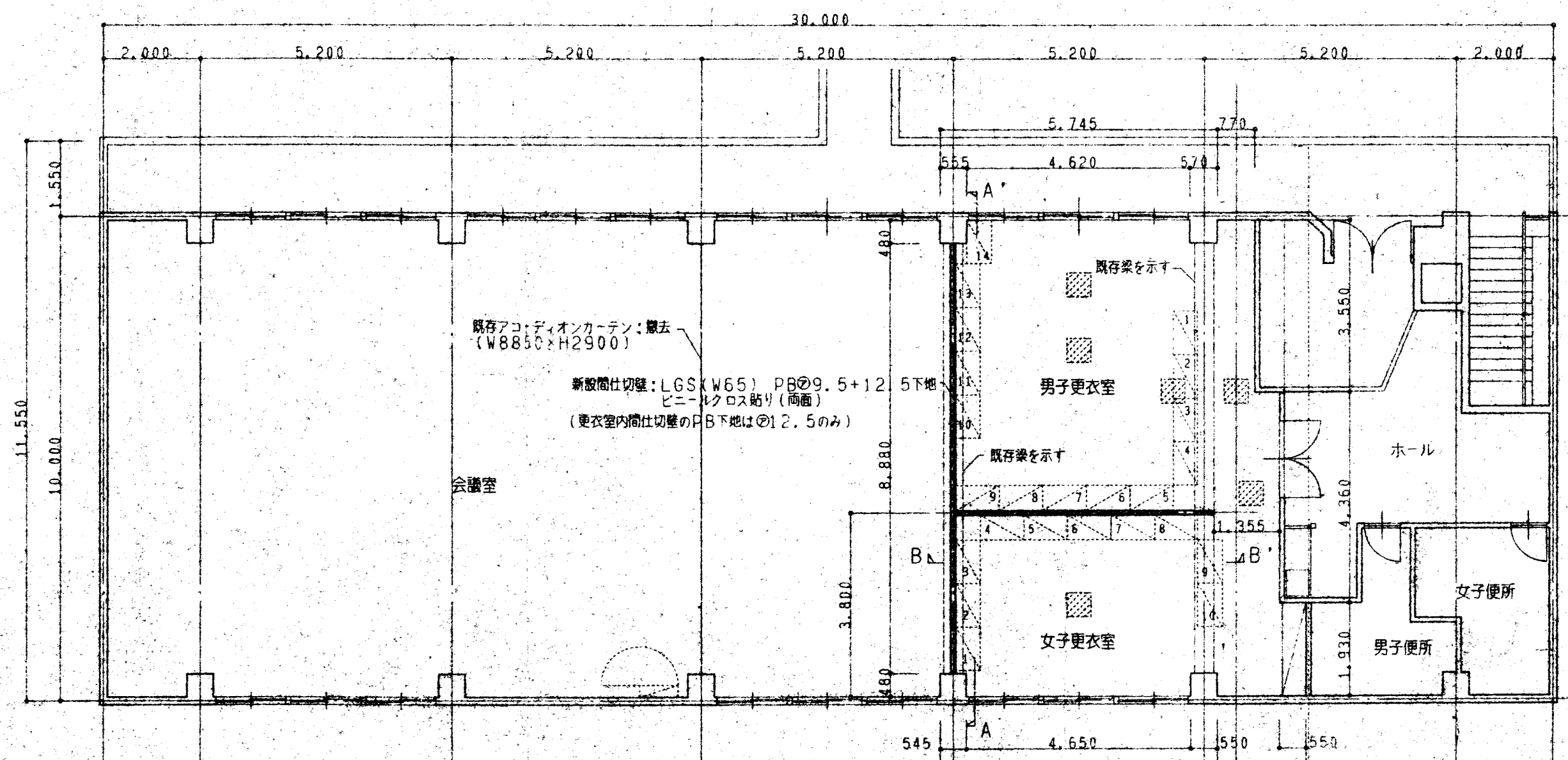
A-A'断面図 S=1:50



B-B'断面図 S=1:50



理化学試験室棟 2階(変更前)平面図 S=1:100



理化学試験室棟 2階(変更後)平面図 S=1:100

※天井補修箇所を示す。計6箇所。（1箇所＝有孔吸音板303×606×3枚）